

特別  
千12  
3643  
71(26)













○夜鳥

○加茂

○小督

○城通

○後忠度

○杜若

○紅葉將

○西以振

○鐵輪

○竹生寄

○朝長

○除野宮

○山姥

○除忠度













又  
南左へ存トリテ死返り下流扇 扇アテ  
右ノ所ノ時ハ朽ナカト能ク又テ周中及ラハ  
先遠ニテラセト袖カツキテ西ノ方見ルニテハシラレ  
ノ例ハ此也

●流レマワ乱ノマワニテ又柳ニスベシ

加茂 増 水桶 海

他リ物正而中ノ先へカス  
一モイ此帯 夏キ水ノ川クニトツシカニテ中へ行  
正 其向テ是ハアタリニテト流 板ノ室ノ物等ノ  
ワメ又是ケルハ矢ハト正へアカラカナルト是 湯作  
サセトニテ又 惣ニテ神ノ依事ト事へ昔ハ此等ト  
正へ 別雷ノ神ヲ事ト事 其母内子モト正へ 此ニ  
族トトト向合 八百歳ノト事へ心ナリトニツメ  
能ク又ト正へ 冥然フニト事へ 下ハ白川ト事へ  
又モウチニモトニツメ 石川ト正へ 月モ流レト

右リケ スムモト正へ 勿風 心モテト引 何故モト  
其ノ年ノ矢ノト事へ行 角トリ 早レモト  
ニテ例ニテ 絶又リ子向合ト正へ 劫イカト  
ツレ向合 此ニツメ 音ア水ヤト正へ 立カ川 水モ  
ナリ見ヘシト右ウケ 流ノ 此ニツメ 波モナヤト  
下ツ見テ引 清洲川ト左ト事へ 中行テ高根  
原名ト目付花ノ上ラ見テ也 朝日待流テト用  
汲又身存ト左へ 廻リ本カヨリ 兵ニ心身ノ上ト  
引 誰モ知レト 右ガヨリ 正へ向 今月ノ日モト西ノ上  
見 ウツラ移ガト他リ物ノ前へ行 湯リナクソト  
水桶カ下 水桶トニ 神ノ心汲フヨト 合等年モモ  
左右ヘトリテ 其年へ行 正而下 流 ワカニテ 難トハ今ハト事へ  
ツレ水桶モモニテト也  
流レシカテト イモ見区 ハツカニヤトニテ 柱又ハツツロキ  
流レニ成ナト 右ヘリカリ ヨモ名平ハト 左ニテワツカニ







水ニヒタシテスミトトト神テ水汲マツニシテ神へ  
カケル右ニ如クニ度ス 山河草木ト五オヒテ  
左ノ方ヨリ右ニ廻リ右ヲウケテ 神降本現トシテ  
柱久ヨリ幕ノ方へ雲霧同 早苗ニ立ヘトリテ  
解タニナカラ苗屋ノ上ニ下ニ立  
治元時ニトシテノ向時向方 亦神ノ神ハト五テ  
之候幕へ入ル

●後ニテノ誼洞子ノ浮カ花ヤ成シサガ心持ナレバニ  
ナガシ當リテヨリ元ノ洞子ニ

### 小督

單騎夜大口小立見折鳥羽子  
後將衣ノ露ニテ肩上ニ

ワ呼カス幕上テ 誰ニテト 洞子カラハル 是ハ宜るニト  
ハテテニ尻 其ノツキ 洞子 叔オカニハトニ上ル 早  
今夜ハ八月十五夜ト正ノ向 小督ノ為ノ由メヲハト早  
心マスク思フト 時ノ面目 是ツテトニテ

モ候尻ル 疑テハルマト起 テ白 歩切ニ立 幕易ハ  
急心ノ行用トシテ 恒々ニテ 洞子ヨリ入ル

他ノ物 早産ノ前へハス 但神垣後見ヨリハス

ツレ何事ナリハ他ノ物ヲテアケテ入ルトモツシ  
入テアトツ立ル 叔ニス 脇正面向テ下ニ尻ル

狂言ニカクアリテ 室ヤ一樹ノ陰ト陰  
地ノウケ何ナシ

後一モイ本載一松ニテ正ノ洞子 寝寄ニワ心セヨト

ニ更引テ馬ノ顔ヲ見ル 小産ナクト正ハ山里トト  
右ツウケニ更ハ 誤解ノ方ト早産ノ方ト上ラ見

テコトト正ニ更シ 在月ニ鞭ツ上テトニ更引ムテ上テ

駒ツト馬ノカニ見 見ナカラムテツロ 早又急カントニ更ハ 駭カト解キ

モシヤト思ヒコカシコト左ノ方向 見テ 幕色ハ入

駒ツカケヨロト中程ニテワカト行カケヨセテト右ノ方へ  
出ヒカケト正ニ更シリニテ又 ナカリケリト面赤ニ

月ニヤト左トリ中程他ノ物ノ前ニテ正ノ向 法篇ニ







イハト名残ト又あつツノトモシ酌ニ承テ時ノ厨ヒラキ  
請シ酒宴ヲナシテト豫ナカラ正並ニ厨タム

月夜ヨシト諷ナカラ立シテ柵ノ側ヘ友ヨリウツキ  
ハカリ男舞五段 笛上厨 笛ノ音ノ用

引トムヘキト柏子ニツフミ左右区同 我カ身トモ  
ナシキ

今ハ掃リテトツヒハ公テリシヨミ唐衣ユカニトウツリ  
袖ヲラヒ又左ツリ袖ヲハラヒナカラ下ニ尻 此服ヤト

あキツキ並ニテ正ノ用 急心モ男丸駒ニト角ヘ  
行テ右ノ方馬ヲ見テ ユラリヤチ系ト右ヨリ馬ニ

急心ニ柏子ニツメテ後見エノ方 切 返ルマツトモ伝  
柵ヨリへ行 仲間ト幕側ニ正ツリ都ヘトテ社ト

右ニ正公 カサリケト柏子ニツ扇タニ幕入ル  
袖及ヒ

後出立凡折爲帽ヲ 小立ニテモ 捻緒ヲ掛 無花赤着付 浅美奴袴  
單符衣 赤ラシホリテタスキニ 小サ月サヌモアリ 作物舞臺入ルヨリ  
右ニ正ノ時

ツレノ仕形

ツレニ人共扇持

メツヤ門ニ人音ノスルハトモツレヘ向 中ニト脇正  
並ス ウウナヤト他リ物ノ外ヘ向 ヒツカニ傳ヘ兵

官ヲ我ニ正向タレシテ中ニ入来時ニテヘ向  
正正ヘ並ニ 他リ物ナリテシテ中ニ入来時ニテヘ向

文前ヘツク時文ヲ云テ左ニ持見テ正並ヘ並ニ向テ  
本来モト高水クキ正又ト文見ル 正コヲ演成ケレト

右ニ正系リ クリニ扇ノ兵文ヲノセテ右ノ方ヘヤリ行リ  
正正ヘ並ニ 中々ナリシトシテヘカ切正 内ノツテニテ

身ニシテトシテ入内カラ正 宿下トシテトシテヘ  
サ切ニ右ヲキカ文ヲ扇ニセタルニ前ヘ公スシテヘ  
向タレシ居ル酒宴ヲナシテ正並ニ

今ハ掃リテトシテ向時向矣 急心モト正並ニ  
小舞見後リトシテ柵ヨリノ方時ヘ向ニ是程也

中ニトカリ態ヲト立他リ物ノ側へ行ツニ開クト舞ヲ  
開キニシテ、スノ聲へ行下ニ居 上ノ演舞テツクヘ向  
仲風自ニカラカラニ程ト遠 是方トリムヘトツテ  
立戸口ヘ公シテヘ向トニ居 オラハスヘト遠アトテテ  
之ノ聲行下ニ居 イハト名残ノ心トテトニ扇矣

シテモ  
カサリ  
カサリ  
カサリ







Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a document or a personal note. The text is dense and covers most of the page.

尾毛社極ノ有ケルソト 都斗是向見也 古物ニソコキ

ナカラ 傘名ニ 松明 傘ノ中へ入テ 後日之度 三船又持

此ノ後 バイニ 中へ行キ 向テ 居座 早ノ後ニナリ

正面へ坐シ 天雲ノヨリ 降ル 面白シク ト氣正

面へハツキリト坐シ ナドカ 鋼受ナカレキ トキ入 心ニ知ラセト

正 荒面白ノ出キヤト 早へ 凡 早六ト 兵 六ノ後ソト

早へ 牛切ニ 兵 直感道ヲ 取リト 早へ 心ニ付ク 定人ト

早へ カレ 舟持ト 儀カラ 兵 誰カ 神意ト 早へ 早内ニ

正 心 澄ミト 儀テ 坐シテ 柱ノ 先ク ツツキ 下ニ 居テ 船物ニ

才シ 常 ありニ 持正 公 見付 柱ノ 前へ 下ニ 居イデク 謝

舟 洋ス コイ冬 夕 ヲテ 障上 舟 岸ト 儀ナカラ 常 左右 入振

テ 戴ク 常 右ノ 膝ヘ ツキテ 敬白ト 儀カス 有物ヤト

常 ありニ 持イタキ え 通り 右ヘ ツキ 押ト 儀

思ヒカラシテト 常 え 通り 持正ニテ 立 立廻リ 角矣

心持 早カク



足ト左へ廻り中ニ正へ右へアヒニ廻り昇梯  
月身其右邊通圍大小前ニテ水廻り兵引トモイハレ  
和光同慶ノ後セイヨクワカウ事ナシト兵公同 天地  
開ケトオシテ右へ廻りニテ後ノ先ニテ 左右サ区ヒラキ  
スナホナレキカヒ返シ 今貫之カト足へ返シヨリ正へト奉  
早へ向カリニ姿ヲ見ルワト フニ開ニ足也 鳥居ノカ  
サキニト右トリニテ後ノ側ニテ立居シト幣ヲシロへ  
扱ケテ其下ノ幕へ入 詔早當

又鳥居ノカサキトニテ柱ノ幣ヲ扱テカサキノ心ニテモトヲ  
通りサニ幣ヲ後口捨テモ  
右朱書 文正五年十月五日  
御在在所奥御依 清賜ヲ勤奉形

### 後成忠彦 中将

後成 角勝子内門水長六に奉る  
トモ 未紀男 右方侍

初同ノ中ヨリ出ル 中切有テモ 隠ハテニシテ後ノ先ニテ開 宛為リテモ  
瞬ニ進ニテ後 何カ別ノ物ウカレキトハケ開 立ニサリテモ  
イカニ後成ノトツレハ 石見ノ後ト正 備モ子載集ニトツレハ  
心ニカリハトニシツメ 心保ト正 我々左ヨトツレハ  
備ノ未モ正向タシテ 古ハノ花トイハ題ニテトツレハ向タシ  
カハナシマト正ハ区開 アレニシト拍子ヲ中切ニ返シ  
首オカラフト正へ公同 後シモ永キ世ト左ニテサレテ  
ツレノ前へ行 袖返し 跡身オト左ノ身ヲテツレラズル  
実ヤト袖ハ子正へ返シ 小蝶ノ後ト角ハ角ヲ 角不瓦左へ廻リテモ  
隠へヤ舞へマト正へ廻リニテ柱ノ側ニテ水廻りツレへ同  
我々ハセト正ニ中へ行ト正正 未世未行トツレハ  
中切ニ正へ 名中中切テモ 叔王我後ノ浦ニ立正へ公 龍雲  
跡ニモ思ヒトサ区 府兵前へカケシ サクナリテト 龍雲  
一哥ノ事ト左へ行トニ河又トト拍子ヲ比ノ後々ニモト



右行カクコフ書シキカ成ト正先へ方区同 松ノ  
葉ノ敷矣ズト下ヲシ廻し開 草木ノ草フ上越へ廻リ  
三ノ極先ヲ島ノ松ト兵開。ヨモツキヒナ。敷。治。ト  
柏子六ツ右ツリ奇正神ハナシテ角久存カカシ  
トメズ左へ廻リ大少のミテ左右にへ向 荒谷残カシト  
解スミナカラクツツキシテ極先ニテ右トリ正へ用柏子  
一ツカケリ必帯但地類ノアガリヨリ 倭國不思極ヤミ  
シハ忠意ノト遠 大少のミテ今ハイニ倭國極ニニフ也  
シテハ習事ナシ 留小廻リ正へ用 アシハ後セヨト右ツ  
ウケ 依羅羅モツト行カリ 本ノ下男ニトム子サシテ  
其後 三ツツタスト柏子ツツミ専引テ スハ敵陣ハ  
之ハシアヒト柏子六ツツミテ解完 神ハ大左右シテ正  
面先へ方区ニ倭國左ノミツミ 荒谷ノト引テ  
右前へツツミ 波ノサ物又イテト太カツツキ右ノ所ヲ

引テカカツツミ 切テカシト角へ行角久 群ヲ極へテ  
左へ廻リシテ極先ヨリ 忠意相向ツテト右ツツミ引  
極先へ方区ニ倭國左ノミツミ 荒谷ノト引テ  
ニテ切りむ柏子モ一同ニラム 専ニサシテ右へ方区下上高  
アキシテ立テハト 左ニテヨリハ火車フリカリト上ツツミシテ  
正面ノ上ツツミ 地ヨリハト 太カツツミシテ下ツツミ  
ニ是系越柏子ニツ 且ツツツラヌキト越上リモ床 立ツ  
モツレヌト立ニツクワツシ 正向右カ格 出座 コハイカ  
海ニシヤト左 扇ニテトツツヤ ヤ有テト乳正也ニ  
ヨリ立テ極先へ持立シニ極先へクツツキ正へ 首チカ  
ラフトハケ開 枕天感シ玉ヒヨリトオシテ角ニテ小クツツ  
不廻角大テモ  
角久 クラヤミト扇面へアテ 焼ツツツケテハト左廻リ  
深夜ノ月ト大少のミテ正開 花ヲ踏ハト扇上ヨリ下ニ  
ツツミ正へ方区ニ倭國左ノミツツミ 荒谷ノト引テ 中ニテ



早ニテトト東ノ方ハ雲ニ同 有ツル姿トナシテ  
右廻リ見付存例ヨリニテ住ノ先ニテ廻リ正ノ間  
袖ノ之右ニ立公共ニケリト相子ニツフニ存メニ多ク入

杜若の毒

呼掛ケ 早ノ詞ヨリ公 名存シハト早ノ物モニホト  
正 元方ケ詠メト早へ荒心ナラトニ足又 冥々ヨリ  
群物又ニテ存ク先ニテ 務ノ心ヲ詠不空ハト早へ  
唐衣ト云 是存テト早 其面首ト云 コト  
新ニキト早 因ニホト云 思ハ海リト東ト南  
ト休ト東 ハルクキ又ト高花ニ流 主ハ首ニ早へ  
今寒ニトニ足又 在来ト云 汚水ト右ツケ  
契リトト云也 正公 思ルト間 今トテモ縁人ト

早ノ向 首ヲ初ルト左廻リニテ柱ノ側ニテ 心即ト正ノ間

是レニテトト向流 早ノ詞解テ右トリ後方ハハツロキ  
物有存テ 是レ柱ノ側ニテ 早ノ向ナラハ 冠衣ト

袖ノカラ 左右存情ニテモ 不思故マナト云 是コソ此奇ニト

早へ 又は冠トト云 形見ノ冠衣ト云 (此ニ又持ラレトト  
是ハ左存情ニテモ)

冠衣長クテ 道又ト正 殊ニ我ハト早へ 又業年ハト

正へ 草木迷モ流ノ意ノト早へ 是ハ未世ト云 佛事

シナスヤ 西面ト云 彼ニ流生ト高クニ流 昔ク深度ト

早へ 道ニト云公 此クト本又ルト云 是レニ正公同

地トリニ多早 正ニテ存ク先ニテ公テ 別レコトニ流

袖ヲ都ニト云公 ヒラキ イ且 大少ノ前ニテ及ホノ頭

併テ流 當時其例希ナルト 扇完 初冠トトイ初

ニツ 未切ニ存メニ 群也 理明ノト相子 殊ナリケルト



正公 未トテト同 東ノ方ニテ左ツウケテ正公  
行カリ 伊勢ノ尾張ノトナリ廻リ同 浪ヲ見テト見  
ヤリ イヤトシクト角ハリ角ニ 浦山ニクモト左廻リ  
信儀九ト中ニテ正同 浅方ノタチヤト正ノ上ヲ見  
クニル煙ノトナリ扇完 顔ヘカシ 立燵ト扇上ノ氣  
遠近ノト左右チヲ前ヘカシ 左ヲ先ダテ左へ行  
ロツトミト柏子 猶ルノト右行 三河ノ國ニト正面  
先ヘ歩込同 寢ソ右ニテト左身ヲトリ正公同  
澤田ニ句フトナリ廻リ同 花繁ノト右廻リニテ右側  
ヨリ ツニ有ヤトトワキヘカ行カリトナリ同 都人ト  
柏子ニツチ切ニ正ニミヤリ 此ニ正物語トナリトナリ  
其品多キト正公同 變リシ人ニノカツクニト柏子セツ  
友ノリ 名ヲ又ト左右ノトナリカシ左ヘ向テ 品ヲカヘテト

正同 人待サト右へ廻リ大少のヨリ 玉簾ノト正面へ  
ニ行カリ 芝毛礼テ花巻ノトナリテツクト正公テ  
同 上ヲ見廻シ 雲ノ上ニ正ノ上ヲ雲ニテ同見  
秋風吹トト角ツク 仮ニ取ルト左廻リ中ニテ知ルヤ  
右ヤト左右ナリ 識ナラ同 有明ノト柏子ツクニ  
先ア子キト大左右 月ヤアラヌト左ニテナリトメ  
春ヤト右行 我身ヒトハト正先ヘ歩込同 本光  
去如ノト正ニ正公先左ヘトリカシナリテ同 陰陽ノ  
神トト右廻リニテ程ノ先ニテ 加換ニテ物語ト  
府前ニカシ 八子ナカラフキ帆ノ側へ行カリ 鞍ハセ玉ヲ  
面ヲ強ニテ 右ハツク廻リナカラ右ノトヘニ折返シ  
ワキへ行カリ 旅人ト左ノ身ヲ見テ見  
ハルノキ又ト左へ廻リ 春持也ニ大少のニテ早命







女にワカリテ軍向 板入寄りシテ徑側へ行 軍向  
菊ノ酒ト申テ上リ 何カハルシト下ニ辰正ニ  
カレトメ早不向 申切ニ解案酌ニ立 サキダニ心  
ト

ワノ前へ行下ニ辰 思ヒシカトモトワ早急ス時ツグ アトチ  
ト  
向ハバカワルト 早向左 申切ニ急タニ 大小初ニ立

正向 コトニシ酒ソト掛ケ 諸九ニト角丸礼心ト

左廻リ申テ同 類ニ龍ノトカシ廻リ同 余存ノ見

ルメモト申テ 赤袋 面ヘカサニ 是トテモト同ニ存ト

前セノキリト左へ行 色ニテト柏子 カル折シモト

右へ行 カケテソ頼ムト正スヘ申テ同 切ニモ分ナ

カシテ角又初サシ是トメズ左へ廻リ申テワキヘ向

申切ニ正へ 雲ニ龍ノト右ウケ上リ 邪ノ變リノト

正ヘガ同 重ラ廻ラスト右へ廻リハセリ申ノ舞

五段也 但ニ辰目ヨシテ而ヨリカシツ太心 角元テ

左へ廻リカケテ早ヲ見込 シヤラホウキヒトニヨリ

早メルニ存サシテ シヤラホウキヒトニヨリ 桐子ツ ケシテ  
音ナシニフム

トメワカニ存面アサシ 赤岩ノ地下同ニ存上

能ス初葉ト左存申テヒキキ 一兩サリ 左リテ  
三

アサギナカラ正ニ公 夜來ノトヨシ右へ廻リ

月侍様ノト存有上 脇正ノ上ヨリ カメシク袖モ

露フカシト早ニ公 夜ハシヨシ至フナヨト同テトクト見

是ニニ面ヲ強シテ右トリ他リ物ヘ入

ライ序ニテ速ニ急ニ入心 間未社如ル

口ニニ番子か時 威儀ニ申テ下ニ云々 シヤラホウキヒトニヨリ

白面 向足トメ アサギナカラ正ニ公 面シムクサト雨ナリ

後訊ノ白テヨリ他リ物カテ 七尺ノ席凡ノハアサギ 時存ノ  
右ノ方へ上リ アサギテニ云々ケト 赤梅送持者ヘツク振ニ  
御松ノ一柏子ニテ早急ニ又同リ 引ツロシテ通シト云々



早ニ引レテモ年絶ニテ笛ノ花ノ五ノ向タルニ母花ニ忽忽  
左ノイモカケ 角ハカホク 腹ハ日月ト右ノ方ハ目ツクハリ  
娘ヲシタス及モフト早ノ物ニテ 五月又 花ニ在リノ方  
面ヲウケキト口ニ面中ニ見ル 柳 柏子フミ  
他ノ物ハ入 早ニ引レテ後見他ノ物ハ入

花ヲリ角トリテ左ニ引リ口ノ前ニテ左ノ身ヲ引キテ  
見 左ニ引リテ左ニ引リテ口ノ前ニテ左ノ身ヲ引キテ  
柏子フミ 花ヲリト三辰辰 早ヘガハツニ右ニ廻リ  
右ノ方ヨリ花上リテ花上テテ口ヲ見ル

侍掛ケ美ハト花下ニ 〇ニテニト柏子ニツクニ花ヨリ花  
シリ 花遠ヒトカラサシテ早ト花上リ ムツトクニト  
左ノイモカケ 早ノ引レテ 笛ノ方後ヨリ

カズベツツカニテアカラシトスラト口ノエリツツカニ  
引レテ行 切ハラヒ玉ハト口ノ前ニ花上リ 釘ニ引レテ  
口ノ前ニ花上リテ 山名ハノホルヲト他ノ物ノ側ヘ行

他ノ物ハ左ノイモカケ 左ノ引レテ上ニ 引ラロシテ通ニト  
早ニ引レテ中ヘ花上テ正面向テ口ノ前ニ 花上リ  
汎解テ口ノ前ヨリ花上リ

### 西行櫻

他ノ物ハ山ノ前ヘカス

總尉

- 一着
- 一花
- 一白
- 一柳

夕宵花ノ下ニテ夜ト花ニ疎ク明テ下引廻ニツク  
直ニ花ハス 是ハ花上ノト 口ノ前ニテモ

イヤ上人ノ内ヲ下口ニ 〇ニツク人ノト兵 柳ノ科ハト  
口ノ前ニテモ イヤ上人ノト正ヘ 〇ニツク人ノト兵

正ヘ 花上ノ科ハト口ノ前ニ 〇ニツク人ノト兵  
花物イワヌト正ヘ 〇ニツク人ノト兵



正色し 持巧テト立他リ物ヨリ公 科ノチキ由ラリ同

正色公 花ノ精ヲト申向 上方面 凡心ナキトコヲ柱 足下

申向 草本國云名取心ノ上 足 足取テ下ニ立立 有難ヤト

子カゲテア申ラリ 花 盤前ニト正色し 源色カクシト

立 ツキ ツキニト立ララ九下リ 立 立ツリニ大いあへ行正へ 近傍殿ノ系物ト申向

申正色 立 立ツリニ大いあへ行正へ 近傍殿ノ系物ト申向

子本ノ様ヲト右ヲケテ正色 モ 取ノ名ニスレト同 子本ノ

花盛リト左右正色し 強ルテト立物子ニツチカ切ニミヤリ

昆田門堂ノト角丸 四ノ天ノト左廻り 上ナル足流トカテ

正公 下河原ト 不 不完ニ面生イニ豆カテモ 首遍照正ト申向

ヒラキ面カサシ 花乃山トヒラキ面生イ 徳ノ山ノト左

行 花ノ吸ト申子 栞ニト右へ行 思ヒラシテト正色へ

申向 清水寺ノト右廻リニテ在スニテ 室又又付好

ヒラキ トオセニ流ルト右ヲケ存上ケテ正公存 立見テ

湖岸波ト角丸存カシ 正色廻リ大サカシテ 正 正色ト申向

正色トコイカニツテ スハヤト伝 後復ノトシテ在 方 方カキ

正へ アヒ雅キハ及ナルヘト申へ 考方一外ト正へ 考方ノ

夜ノト存カシナカラツツロキ也ニ正色 正色 正色

申ワカ 明ソメテト同存上 後シモ持又ト左右申向

別レコソアト申へ 侍シハシノト一應ニテ子キテワキノ又

夜 夜ニマ際キト同 申向 シ シラムハ花ト他リ物 ト ト

ナリケリト 左 左ノ神掛ケテ 他 他リ物見シモ 余 余夜ニテト正ノ方リシテ見廻シ

右へ廻リ 夜揚ノト正色 油巻込 花ノ枕ノト正色

面下ケ 菱ハ足ニケリト 油ハラヒ 割立 菱 菱ハ足ニケリ

見 見有住ノガカテ 正 正ノ方リシテ見廻シ 正 正ノ方リシテ見廻シ

ナリケリト 左 左ノ神掛ケテ 他 他リ物見シモ 余 余夜ニテト正ノ方リシテ見廻シ

右へ廻リ 夜揚ノト正色 油巻込 花ノ枕ノト正色

面下ケ 菱ハ足ニケリト 油ハラヒ 割立 菱 菱ハ足ニケリ

見 見有住ノガカテ 正 正ノ方リシテ見廻シ 正 正ノ方リシテ見廻シ







足ヲヒキリテ捲セリ(向入ル  
志ク心ニテ幕へ入

アキツシ儀併テ後見他ノ物甚正先へかス

後如儀不致一辰 捲セリテ松ニテ苗正向儀

因果ハ車輪ノ廻ルカ如クト右ラウケ 我ニウカリシト正へ

忽報ヒラ見スヘキ也トニ是ハ 我ハ斐布祢ノ川流ノト

右ラウケ 螢火ト見廻シテモ カウニイタク正へ正へ

シテ我故ニテ頷シカシ ホノホノ赤キ鬼ト成テト  
我ノトケヨリ薄有

面ハツキリト正へ 外々男ノト卒急へ入甚へ上リ

イカニ殿中ヨト馬留子ヲ見テト三兵衛福我ニ左ノ物

荒恨メシマト我故送ニ初へツツ依ニシテ左ノ物ケテ

腰ツリシテ  
イカニ馬留子見込 捲ラシテト 平座シテシホリ

今ノウラミ  
因果ハ車輪ノ廻ルカ如クト右ラウケ 我ニウカリシト正へ

又ハ恨メシト面下ケテ心持ニ是コカリト正へ 起テモト

左正へガツツシツ 因果ハカウツト互左へ廻リ他ノ物

向 今ハ々智ヲト他ノ物ヲサシテ見聞ヲ切ニ正へ

今ハ々智ヲト他ノ物ヲサシテ見聞ヲ切ニ正へ  
山ノ嶺ニツト相子ニツ  
又ツツモテモ

人ノ歎キハト右ラウケ イシマ年月ト正へ少公苗リ

思ヒニシツム恨ミノカヅト柏子セツ左ノ儀 面下下リ

聞テ 批心ノ鬼ト成ルモト面上ル カモリト イテくト他リ

物向 返シヨリ急く上リ シホトヲ振上ト我故上テ

又 髪ヲ子ニカラツテト 髪受ツ左ノ子ニテツツモテ



甲午







其屋小宮 大やあへかス

### 竹生湯

シメ水衣  
麻摺ニテス

ツ上着厚敷也  
上着ノ上ノ水衣也

モイノヒニキヲアテテ毎カス

一セイツし前キへ公舟ノ中へ糸シテ叶モへ糸

後見掉左ニ持ル

掉持テ強カス 心ヲトニ豆クツワケテモ 浦山カケテ

右ウケモ切ニ正へ イサウシヨセテ事ト心ト掉ヲカシ見

右ノ手ヲ掛 面高ワノ内ニカツルシ 是ハ返シ舟ニテモ

ワキへ 以テモ釣舟ト正へ 又ハ神急モトワキへ

アラハカ舟ト正へ 志賀ノ浦ニカ立有ルハトワキへ

カ舟ニ召レテト 右ノカヲカワキト正へ向

カ舟ニ召レテト カヲカカシ 掉カシワキ舟ニ糸タラバ  
カヲカニ正へ向 カヲカニテモ

ツレ早ト正へト正へ

山々ノ春ナシヤ花ハカラ白雪ノト正面ノ上ヨリ脇正

右ノ方へ見廻シ 降カ強カト見返シ 時シラ又山

ト右ノ方ノ山ヲ見テ正へ向 猶又返ルト正へ 沖溝

舟ハト正へ向 雲井ノ糸ヲ見テ人モト正へ向カリ

右ノ所ヨリテ早へ 浦ヲト正へ 竹生湯モ見へ向

正へ向カシ見 ウサキモ波ヲ走ルカト 掉カシ見テ掉

カシ 面白ノ湯ノ気色ヤト 正シ見 舟カ着テムト

解具ニ、ニテ面斗ワキへワキモツモ舟ヨリシリタラバ

掉ヲトシハ扇カト強 舟ヨリシリテ糸又キ持正へ向

女シカテ 他ノ物見上 是社ト強ワキへ向 中へ行ト



















開合書 左ヨリモトヨリ 橋ノ内法ヲ得シ玉ヘト  
ニリツメ 緝ヲカテツメ 湯シツトニリツメ

アシハクイハト正ハハツキリトシテ開 キユナシト拍子

海ズハイカテ焼ヲト正ハ公 夜ニ憐ニテト開 深夜

ノ得モト正ノ上ツ見 影シテ光法ノ情ニ玉ヘヤト

左ニテカシワキノ初ノ行 袖返シ左ノ身ツリツリ

口名時人ヲト 油ハ子テ左へ廻リモテ柱ノ側ニ小廻リ

内法ヲ得セ玉ヘヤト正ハ開 ヌリ訊ナカラ左ヘトリ申ヘ行

床ホミル 色ノ初ツキ入 内吊ヒニハツトハツツメ

船長カ後生ヲモトツメ 暫シ若シツトツキ入

入乱ルハトツメ 縁ハ白雲ト正ヨリ右へ上ツツメ

教ニシリト<sup>ちりり</sup>見廻<sup>り</sup>来<sup>り</sup>。運。の極メノカナレハト

拍子左へノ<sup>左</sup>右<sup>右</sup>ツリ ヒサノツチヲト<sup>左</sup>右<sup>右</sup>ツリ

イワセテト左ノヒサヘ矢ノ立チ小振ニヒカシラヘタテ

見ル 馬ハシキリニハ子アカレハト右ニテ拍子<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ

アフミラフシテツリメ<sup>面</sup>ント<sup>上</sup>ツリル心 スレトモ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ

ナレハト左ノヒカラシテ 亦<sup>一</sup>モ見サリシト<sup>右</sup>持<sup>右</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ

看<sup>右</sup>持<sup>右</sup>シマラキヨリ立 シノキ来<sup>右</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ

開 雜兵ノ子ニカシヨリハト<sup>ス</sup>下<sup>右</sup>三<sup>右</sup>辰<sup>右</sup>年<sup>右</sup>九<sup>右</sup>シテ

ハラニ文字ニカキツテト 履<sup>右</sup>切<sup>右</sup>ル<sup>右</sup>仕<sup>右</sup>乱<sup>右</sup>シテ 其<sup>右</sup>後<sup>右</sup>ニト

イ互ツキヘ袖<sup>右</sup>及<sup>右</sup>シテ見 彼<sup>右</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ<sup>又</sup>ツラ

例ニテ小廻リ ナキ<sup>右</sup>証<sup>右</sup>トヒテ<sup>右</sup>七<sup>右</sup>玉<sup>右</sup>ヘト<sup>右</sup>ツメ<sup>右</sup>入<sup>右</sup>合<sup>右</sup>書<sup>右</sup>シテ

此<sup>右</sup>ニ<sup>右</sup>在<sup>右</sup>ニ<sup>右</sup>互<sup>右</sup>ツキ<sup>右</sup>ヘ<sup>右</sup>シ<sup>右</sup>テ<sup>右</sup>ツメ<sup>右</sup>入<sup>右</sup>合<sup>右</sup>書<sup>右</sup>シテ



山姥

面是女ノシメセシハハ麻ナシエリ茶カ  
色面  
後

後面山姥面

山姥髪

惣髮色ナシヨキ

モヤウ

半切 髪付

厚板痺折

脇帯

子キレ雲

尾髪 三月  
三層 三ツス

カバ杖 巾持付

エリツツコカ

花袋

ヨヒ掛

是ハアケロノ山トテ

明ワセ餘ヒトツレ入向

宿者又申テ下ニ居ナカラ 今宵ノ宿トイナカラ

下ニ居 其為テソト正へ イカ扱ニモツレへ 是ハ思ヒ

モヨラヌト云へ イヤ何ヲカトワキへ 先地舞ノト正へ

其面白ヤト面ヲモ心 先ハ曲舞ニト面直ニ イカ成

者トカトワキへ 鬼女トハ女ノ鬼トヤト面ヲモテ正へ

也レ 童カ身ノ上トワキへ 年比色ニト正へ

恨ミテニトツレへ 道ヲ極メト云へ 歸性ノ苦行ニト

ツレへ 恨ヲ云マシト云へ 色ヲアケロノ山姥カト

ツレへ 名思儀ノモシト云へ 氣ニ極ヒテ去トテハトツレ

けよト云へ シハカ成トツレへ スハマカケロフト

云へ 夕月ノト云右ノ方カ 雲ニ心シカケ又テト正面ノ

上ラ見ナカラ立ニ云へ 山姥カ一帯ヲトツレ入向

具時我婆女ヲモト 右ノ方ハ女カ 服ニ衣ノ袖ツキテ

左ニテツレラカシカ ウツリ舞ヲ舞ヘト引

イフカト見レハ右へ廻リシテ柱ノ側ニテ水廻リ引

云ニハツキリト云向 申入

後ニテ顔被 櫛カリア松ニテ正向

数生ノ名ヲヨコフト云ツメ



イヤ若思不ニト右ウケ 何ヲ收シヤト云へ  
ケンカベウクトシテト直リテ扱夜ツキム子ノ  
アタリ入アテ左ノ母モカケテ解モタシ地ニシテ  
イハホ嶽ニタリ山又山ト正ノ上見 何レノタリニカ  
青嶽ノ形テヲト右ノ方へ見廻シ 水又水ト扱ヲ  
ツキテ常々入シテ扱ノ久ニテ云へ 我ニテ思レト  
ツレへ 扱面ノ色ハトツレへ 形ノ毛ノ思ノ形テト  
右ノ方へ扱ツキテ脇正ノ上ヲ見 今暫始テトツレへ  
何ニクオトシト直ツメ 思レト受用 雨ノ喉ニト  
相子ツツコ カミナリヨウキ思レキト云へ女公取

。且ヨシ思<sup>ハ</sup>。シラマ。カト相子左へリ 何ソト

同シ人止モトリ 亦切ヨリ左へ廻リシテ直え浮世  
預リモハツカシマト云へ 云レニ面フセテ云へ 是ハ顔

ヒノタミワカニトツレへ 一色ノ山鳥科ヲタノリト扱ニテ

ニツツリ 但科ヲタノリト右ヲサリテ 袖ハ白女ト  
云<sup>ハ</sup>袖ニテサ合ス扱ニツツテモ

左ノ袖ハ見 云<sup>ハ</sup>ヲ廻ラストツレへ 扱波ノコトカト

ニ直ツメ ヨシ是邊ノト云 云<sup>ハ</sup>ヨリ扱ニ正ヘ直云

扱云ニツウロキ扱 遠見云 扱又キ持 左へトリテ

クリ視ナカラ中へ入有ニカレ 名ノ前ツレへ向

山ヲラニ函カナリト 右ヲリ行 西面左ノ方ノ上ヲ見

法性峯ヲヒヘテハト左ヲリ行 右ノ上ヲ見 空明ト云



下化流生<sup>ハ</sup>表シテト拍子フミ右ヨリテツト立  
ユリシカイニ及ヘリト下ヨリ見込 赤<sup>ハ</sup>ニ<sup>ハ</sup>之<sup>ハ</sup>也<sup>シ</sup>

生所モシラスト立 只雲水ツ便<sup>ニ</sup>トガシ正<sup>ハ</sup>公

至ラ又山ノトサ込テ宿<sup>ニ</sup>花<sup>ハ</sup>カサシ <sup>人間ニアラストテ</sup> 柳<sup>ニ</sup>来<sup>テ</sup>完<sup>ニ</sup>宿<sup>上</sup>

<sup>隔ツル云々</sup> 柳<sup>ハ</sup>又<sup>ハ</sup>神<sup>ト</sup>左<sup>ヘ</sup>行 変化<sup>シ</sup>テト拍子フミ 一人化生

右<sup>ヘ</sup>行 目前ニ来<sup>シ</sup>共ト正<sup>ニ</sup>足<sup>ヘ</sup>サ込<sup>ニ</sup> 邪<sup>ニ</sup>如<sup>ト</sup>

左<sup>ヘ</sup>身<sup>ツ</sup>トリテ正<sup>ニ</sup>公<sup>ト</sup> <sup>右<sup>ヘ</sup>向<sup>テ</sup>右<sup>ニ</sup>見<sup>テ</sup>廻<sup>リ</sup></sup> 左<sup>ニ</sup>角<sup>ニ</sup>テ小<sup>ツ</sup>

廻<sup>角</sup>え 世法アリト左<sup>ヘ</sup>廻<sup>リ</sup>大小お<sup>テ</sup> 佛<sup>ハ</sup>也

ハトサ<sup>ニ</sup>夜<sup>正</sup>公<sup>ト</sup> 夜生アリト <sup>右<sup>ニ</sup>見<sup>テ</sup>廻<sup>リ</sup></sup> 山姥<sup>モ</sup>

アリト面<sup>正</sup>向<sup>イ</sup>ウケ<sup>ニ</sup> 柳<sup>ハ</sup>ミトリト<sup>右</sup>肩<sup>上</sup>

左<sup>ニ</sup> 右<sup>ノ</sup>上<sup>ヨ</sup>見 花<sup>ハ</sup>紅<sup>井</sup>ノト正<sup>ニ</sup>公<sup>ト</sup> 色<sup>ハ</sup>ふ

叔人間ニアツフコトト拍子 式時ハト左右シテ公

花<sup>ノ</sup>親<sup>ト</sup>目<sup>付</sup>柱<sup>ノ</sup>側<sup>ヘ</sup>サ込<sup>ニ</sup> 体<sup>ハ</sup>公<sup>ニ</sup>重<sup>テ</sup>荷<sup>ニ</sup>

看<sup>ラ</sup>カシト<sup>右</sup>上<sup>ケ</sup>テ<sup>リ</sup>テ<sup>右</sup>肩<sup>上</sup>ヘ<sup>セ</sup>テ<sup>下</sup>三<sup>辰</sup>

月<sup>詠</sup>者<sup>ニ</sup>ト正<sup>ニ</sup>上<sup>ヨ</sup>見<sup>ナ</sup>カラ立 山<sup>ヲ</sup>出<sup>ト</sup>カシ<sup>公</sup>

里<sup>ニ</sup>テ送<sup>ル</sup>ト<sup>右</sup>ヨ<sup>リ</sup>幕<sup>ヲ</sup>方<sup>遠</sup>ク<sup>見</sup> 又<sup>ハ</sup>式<sup>時</sup>ハト

空<sup>ニ</sup>テ<sup>ト</sup>遠<sup>ニ</sup>相<sup>子</sup>ニ<sup>ツ</sup>用 枝<sup>ノ</sup>旁<sup>ト</sup>上<sup>ラ</sup>リ<sup>テ</sup>廻<sup>リ</sup>

用 ホウセキノ宿<sup>ニ</sup>ト左<sup>ヘ</sup>廻<sup>リ</sup> <sup>乃<sup>ハ</sup>柱<sup>ノ</sup>方<sup>カ</sup>カ<sup>リ</sup></sup> 大<sup>ノ</sup>お<sup>中</sup>ニ<sup>テ</sup>左右

歩<sup>込</sup> 汎<sup>ナ</sup>カラ<sup>用</sup> 唐<sup>歌</sup>ト<sup>拍</sup>子 松<sup>ハ</sup>又<sup>ハ</sup>袖<sup>ニ</sup>左<sup>右</sup>

歩<sup>ス</sup>サム人<sup>ノ</sup>ト正<sup>ニ</sup>足<sup>ヘ</sup>サ<sup>込</sup>用 又<sup>ハ</sup>三<sup>毛</sup>牛<sup>舞</sup>ヲ<sup>見</sup>ヌ<sup>ン</sup>

キ又<sup>ハ</sup>三<sup>毛</sup>牛<sup>舞</sup>子<sup>左</sup>ヘ<sup>リ</sup>テ<sup>用</sup> 三<sup>毛</sup>牛<sup>舞</sup>ハト<sup>両</sup>手<sup>サ</sup>合



只山姥カトツヘ向　ワカナヤト左へ廻リシテ柱ノ  
例ヨリ　都ニ返リテトツヘム子サシカテ　佐へト

用テトクト見　思フハ猶モトサニ存角丸カ

足下カニ左へ廻リ大小ノ前テツヘ向

ヨシ足曳ノ山姥カ山廻リスルツト大小カニテ左リヘ  
小ツ廻リテツヘ向テモ

コイノ中正ハコイノツタテ　是曳ノト後山廻リト

シテ柱先ヘツツロキ存前サシ杖持ツキテ正ヘ向

ニ是ハカケリ

カケリノ仕形

ハア杖ノ形

イヤ左ハツ天

此杖四度　ニ度メハ右ヨリ踏カヌ

但四度目ハニ足カテ前へ杖サトツキ右天

左へノリ込也　此サカリテ川角へ行

角トリ左へ廻リ大小カニテ小廻リシテ正へ  
他杖花テ杖ツキテ杖横ニ持左ハモ掛ル

サ込家込拍子ニツヒトフシ杖肩へ投リカツギ

右ノ身ツリ下ニ居戻トル正へグワツシ又左へグワツシ杖ヲロス

正杖ツキテ行杖横ニ持左ハモ掛  
正杖ノ例ニテ小廻リ正へヒラキテ杖ツキ  
杖横ニ持左ハモ掛  
ナシニモスルカ  
カケリトメ

大ウツイノニナリテ一樹ノ陰ト訊

マシテヤ我名ヲ夕月ノトツヘ　三佛宗ノ中ハ公

荒所ノ右後カシマトト下居ウシ見込杖ハ右ノ肩ヘモカ  
左ハモカケル

腰アテト面フロテ立杖ツキ海ル山ノトクツロキ杖

捨テ三層又キヒロゲ持　春ハ梢ニ咲カト侍シト

角丸　花ヲ尊テト見廻シナカラ左へ廻リ大小ノ



前ニテ 穀ヲ辱テト之閑 月見ル方ト上見

山廻リトテ右角へ行ッ廻リ 時雨ノ雲ノト

角入カナシ 雪ヲ積ヒテト暮上テ上角見

山廻リト左へ廻リ 廻リくト大少ナニテ小廻リ

閑 子リ積ツテトトワカシテ向へ閑テ見

山塊トナルト正へ面ハツキリトシテ 鬼女カ有柳

左右 山嶺ニカケリト正見へ来た柏子ヲツフミ

谷ヨロキテト後口へ池区リ下ニ辰 雲ノ暮下ラ

見込 今半夜ト立角入足トメス左へ廻リ

山又山ニ山廻リシテト半夜ノ前ヨリオシテ目付柱

ノ方へ行シテ柱ノ側ニテ小廻リ閑 右へ正へ出

赤ニケリト柏子ニツ暮夕ニ 幕入

白頭時面志蛇ナガ杖トテモヨリ切込杖ニテスル

鬼女有様ト橋カリヘリテ橋ヨリ行 寄ニカケリト之助足ヲ

カケ谷ニヒキテ下ヲ見マシサテ幕キハ行小出リトメ

都ラカテカ、波ヤト 向者 左行ニテ正へ

先カワカスルヘトサテ 半夜へ行陽正向トニ辰

ワキ狂言 旨言有リテ 半夜中へ来リ 出立物付ハ又ヨシ

ト云 是ヤ常ニ兼ルト 訊 及ルベシテ夕七ハヘト

ワキへ向アト正へ出シ 半夜狂言 旨言有テ 早来リ

カラハ内立有フスニテトサテ立正面へハスニ向

月見ル方ト閑也上見

左ハツテカス

左見込

子リ積ツテト用

大ク

谷ニ積ツテト

野ノカケテ見込

右文化年中御進徳情鳴の勤

ツレノ仕形

ランカニ足ツカケルハ自分ノ神  
屋ニテテハセズリカケル神  
ニテモ貴人ハ入ノ時ハ至ル  
スベキ

面若波 カヒトリ



口キ在云カケ合百テ 口キ甚不思ヤト祝  
ナクノ後人トシテへ向 シテ申テ下ニ疾時一回  
居ル 是ハ不思成事ヲ兼以物ト口キ祝正へ  
又鬼是返来リテトシテへ向 必路ニテへ向先ニ  
又ニテリト也シニ向  
口キ由孤有フスニテトマテ 餅リノ事ノ不思  
又ト祝  
後ニテ年々入時ニテへ向



夫鬼是返本りタリトシテ入向ぬ路ニテ入向先ニ

其ニテリト色シニ向

口半由孤有フスニテトヤテ 作リノ學ノ不思義

トト訊

後ニテ常々入時ニテ入向

宗如

一 一節トツテトト有ル者ニ持

一 有ル者トツテトト有ル者ニ持 一 山由トツテトト有ル者ニ持

一 一節トツテトト有ル者ニ持 一 一節トツテトト有ル者ニ持

一 一節トツテトト有ル者ニ持 一 一節トツテトト有ル者ニ持

一 一節トツテトト有ル者ニ持 一 一節トツテトト有ル者ニ持

一 一節トツテトト有ル者ニ持 一 一節トツテトト有ル者ニ持



師長 凡指... 向練

コイオシ 和城印文 昭徳ニスル又モアリ  
以時シシノコイシ

### 絃上

一尺半 又本城 揚をリテ向合 訊ニウニ正へ

詠メニウキヤト向合 シクリ込ニテ糸をへ入ツレモ

例ノ処ニテ扱ケル極 荒面白ト更ニ更ニウメ

アハ舟ノ漕シハト右ウケ 今一返リモトツへ向合

カウツヘ 凡指... イカ歩生ト

白へ車ニ 凡指カ浦ノト更ニ掛一汲カ生ト南リ

ネリタスガノ飯ツカコシ 竹ヨリ... 口更ニ更ニリテ

あま... 持 イサオリタニウツラフハニト

正先下生... 塩クニ融ノク トカノオノスト更ニ更ニ

右ニ更ニト 右へトリシテ在ノ先へ行

右ニ上時タガ左ノ肩ヘカウツ

シテ柱ノ先ニテ左トリテ怪新肩ヨリカシ 左右ノ

奴タガリモセ下ニガキテ下ニ居 各ノ兵へ付シ

ノセテオリ 圖ノ如ク訊ニウニスルニ



項... 浦ノ塩ツシト訊ニウニタカ下ニガキ立



ツへ巾 塩釜ニぬり体ヲト強 ツレト入替り

大新 入行ト三尾 釜在在トヨカ 五子ニテ 柳林面<sub>心</sub>

但大殺ノ前通り 中ヨリ女右ヘヨリタラカニ安座ス

ツレシテ右ノ方ノ女先ヘ座ス

寸ハ塩釜ノ五ニテト面中ヨリハ イヤ九柳ノ人ニテ

面中ヨリハ 中浦ニテ宿ヲ召シハト面受<sub>心</sub>ニ

見苔シクハト 腰ヲ上テワキヘ向 ヲハト口<sub>心</sub>

ツレトトトトワキヘ向

雨ノ大臣トハト 早ヘ向 加程マコトキト<sub>心</sub>

父<sub>心</sub>ニナキ思テトワキヘ 彼峰丸ハト<sub>心</sub>ツレト<sub>心</sub>

逢カタキニキニト 早ヘ向 ツレモ早ヘ向 逢リ

娘<sub>心</sub>ノカリケルト面ヲモ 切<sub>心</sub>ニ<sub>心</sub>ハ<sub>心</sub>ツレモ<sub>心</sub>

我ホモ徳安<sub>心</sub>ト<sub>心</sub>早ヘ向 ツレモ<sub>心</sub> 早<sub>心</sub>初<sub>心</sub>ニ<sub>心</sub>ハ<sub>心</sub>

玉ノ緒<sub>心</sub>ヲ<sub>心</sub>引<sub>心</sub>ナラ<sub>心</sub>シ<sub>心</sub>迄<sub>心</sub>ワ<sub>心</sub>ヒ<sub>心</sub>テ<sub>心</sub>ヨリ<sub>心</sub>面<sub>心</sub>ヲ<sub>心</sub>ロ<sub>心</sub>テ<sub>心</sub>ヤ<sub>心</sub>

ヤト面上何トテトワキヘ 冥村雨<sub>心</sub>ノ降<sub>心</sub>ケ<sub>心</sub>ソ<sub>心</sub>ヤ<sub>心</sub>

心<sub>心</sub>付<sub>心</sub>テ<sub>心</sub> イカニ<sub>心</sub>焼<sub>心</sub>ト<sub>心</sub>ツレ<sub>心</sub>ハ<sub>心</sub> ツレ<sub>心</sub>テ<sub>心</sub>ヘ<sub>心</sub>向 徳安<sub>心</sub>ト<sub>心</sub>

トト<sub>心</sub> 腰<sub>心</sub>ノ<sub>心</sub>糸<sub>心</sub>ヲ<sub>心</sub>又<sub>心</sub>キ<sub>心</sub>持<sub>心</sub>立<sub>心</sub> ツレ<sub>心</sub>ト<sub>心</sub>入<sub>心</sub>香<sub>心</sub>リ<sub>心</sub> シ<sub>心</sub>テ<sub>心</sub>柱<sub>心</sub>

ノ先<sub>心</sub>ニ<sub>心</sub>オ<sub>心</sub> オ<sub>心</sub>ハ<sub>心</sub>ト<sub>心</sub>オ<sub>心</sub>ギ<sub>心</sub>ト<sub>心</sub> 右<sub>心</sub>ウ<sub>心</sub>ケ<sub>心</sub>ハ<sub>心</sub>ツ<sub>心</sub>キ<sub>心</sub>リ<sub>心</sub>ト<sub>心</sub>シ<sub>心</sub>テ<sub>心</sub> ニ<sub>心</sub>ト<sub>心</sub>ハ<sub>心</sub>テ<sub>心</sub>モ

塩釜ノ名ノ子カクトヨリ居ツトツク<sub>心</sub>ト<sub>心</sub>早<sub>心</sub>ヘ



●耳ヲソバ立<sup>テ</sup>左ノ耳ヲ出ス心持<sup>テ</sup>シガリト下ニ居<sup>ル</sup>ニ  
行<sup>テ</sup>足<sup>ヲ</sup>トメ 耳ヲソバ立<sup>テ</sup>ト<sup>下ニ居テ</sup>也

又ノ羽ニ面<sup>ヘ</sup> オシホトワキ<sup>ヘ</sup> 笠ヲ扱屋ヲト

今ヲソバ立<sup>テ</sup>ト<sup>下ニ居</sup>テ  
思ヒモヨラヌト師長<sup>ヘ</sup> ツモロヨ 思ヒ

ヨラスモト<sup>ウ</sup> 押<sup>シ</sup>テカヒハツ<sup>テ</sup>鈴<sup>リ</sup>テト<sup>下ニ居</sup>ヒロケ

女座<sup>左ニ</sup>持 琵琶ヲ抱<sup>キ</sup>松<sup>ニ</sup>持 方<sup>ノ</sup>子ハ琵琶

習<sup>シ</sup>シラ<sup>ル</sup>ムレハト 弾<sup>キ</sup>心<sup>ニ</sup>テ面<sup>ヲ</sup>フ<sup>レ</sup>居<sup>ル</sup>ハ内<sup>ノ</sup>始<sup>メ</sup>

心持<sup>有</sup>ル<sup>ニ</sup> 知<sup>ラ</sup>テ弾<sup>キ</sup>ヒタリ琵琶<sup>ヲ</sup>琴<sup>ト</sup>

ツシ師長<sup>ヲ</sup>見<sup>テ</sup> ナフ旅人<sup>ノ</sup>ハ立<sup>止</sup>ムト<sup>シテ</sup>ヘ向

何旅人<sup>ノ</sup>ハ立<sup>止</sup>ムトヤト<sup>下ニ居</sup>タミ<sup>ニ</sup>居<sup>立</sup>ツシ<sup>ヘ</sup>向

カガト<sup>ハ</sup>走<sup>リ</sup>ヨリト <sup>ツモ</sup>立<sup>止</sup>師長<sup>ヘ</sup>向

ト<sup>行</sup> 巾<sup>袖</sup>ヲ夕<sup>ヘ</sup>引<sup>ケ</sup>ヤ<sup>ク</sup>ト 右<sup>ニ</sup>テ師長<sup>ノ</sup>袖

ヲ持<sup>左ノ</sup>ム<sup>モ</sup>カケ 夜<sup>ハ</sup>夕<sup>深</sup>シト<sup>下ニ居</sup>タミ<sup>ニ</sup>放<sup>シ</sup>女<sup>シ</sup>

カカリテ師長<sup>ヲ</sup>見<sup>テ</sup> アカシテ方<sup>ヲ</sup>立<sup>止</sup>ムト<sup>下ニ居</sup>ケ

俾<sup>ぬ</sup>ぬ<sup>シ</sup>ヲ<sup>口</sup>ハ<sup>付</sup>ケ<sup>シ</sup>キ<sup>シ</sup>テモ 何<sup>シ</sup>ニ<sup>ト</sup>メ<sup>ト</sup>

右<sup>ト</sup>リ<sup>シ</sup>テ<sup>右</sup>ノ<sup>側</sup>ヘ<sup>ク</sup>ツ<sup>ロ</sup>キ<sup>西</sup>ヘ 村<sup>上</sup>テ<sup>天</sup>皇<sup>ト</sup>

師長<sup>ヘ</sup>向<sup>キ</sup>ト<sup>下ニ居</sup>テ 巾<sup>身</sup>ノ<sup>入</sup>履<sup>ヲ</sup>シ<sup>メ</sup>タ<sup>メ</sup>ト<sup>下ニ居</sup>テ

女<sup>シ</sup>出<sup>テ</sup> 後<sup>中</sup>ニ<sup>シ</sup>ト<sup>下ニ居</sup>テ 師長<sup>ヘ</sup> コイ<sup>シ</sup>ノ<sup>首</sup>ノ<sup>ト</sup>

カ 思<sup>ヒ</sup>出<sup>テ</sup>ヨ<sup>ト</sup> 同<sup>テ</sup>見<sup>込</sup>テ<sup>右</sup>ヘ<sup>廻</sup>リ<sup>シ</sup>テ<sup>右</sup>ノ<sup>側</sup>







面白かりし上右ウケ向へ出テ開 逆拜

早舞五段 ~~...~~

上左右并込開 召し方シト拍子ヲ返シ出テ

角元 帝ハ飛行ノト左廻リ 八咫女ニ引

鏡小ト中テ向開 師長モ此馬ニト左

舞 ~~...~~ 正先左ノ方へ出テ袖巻込シテ柱ノ

定開シテ柱ノ側へ行フニ返小廻リシテ袖モトシ

良開袖返シ右ノ方ニ有カキト拍子ニツ

舞 ~~...~~

師長ノ仕形

湯着度舞名ニ立サラヒウキト向合地丸ニ入

波被袖ト向合 左行所テ向へ 先コウハ左

外トハコウハ左行 西ハスニ向合本ニ入ル

シテ 可ラハ内宿ヲ舞テバウツテ脇面へ返シ飛ル

ワキ 以琵琶ヲ舞テ向合トハコウハスニ向合舞名ト執

~~...~~

以頂懸ノ巻キト執 竹管笛ノオウツト

脇中ト連シ 可ハ社初ヨリトシテ エイタクノ面白マ 師長

思フ操ト 舞名トシテ 思ヒテ塩マト立左トリテ

ワキ座ノウキキキ居 宿リ人ノカキルシモ知ラキ

舞名ト云附立立ニハスニ向合ニ出ル







具上上人ト云へ 人間ノ度又ト云へ 心ナキト  
ニ是ツメ 三世豆森ノト云へ 凡モ吹又キト云ケ  
春日山ト云へ云テ 麻ニテモト開 亦切ニ右ウケ  
皆コトクク出迎ヒト 三是程カ 膝シ折角ヲ傾ケ  
ワキハカ 上人ヲ礼拜スルト開 亦切ヨリカケ角見  
母ノ海云ハト左廻リワキ前ヘフニ込 果シテノ  
心ヤト左ヲ引テワキ見 只返スルト左へ廻リ  
シテ柱ノ側ニテ 神意ヲアカメカハニセトワキハ開  
返シニ中へ行下ニ辰 由物預クハト坐テ箒  
捨 箒又キナカラ云へ坐シ ツセノ前ワキハ  
後見箒云

上ノ前ワキハ 名トメワキハ 入夜後天ヲトニリ  
恰ハトワキハ 髯峯ノ後法トイ立ワキ見  
双林ノ入藏ニテト云へ向立 早へ向侍恰へトト  
ニ是ツメ 亦恰四ノト右へ廻リシテ柱ノ側ニテ  
小廻リ云へ開 中入

後早苗ニ辰 橋ヅリノ松ニテ云へ開 太教寺込  
ノアト大小キワニ返シ 三テ時ニ大地ト信也  
スハト 別ニちりり 坂籠池就王ト云へ開  
和。微。光。就。王。德。又。迦。就。王。阿。那。婆。楼。婆。多。就。王。



ト拍子フミ左へ舞リ 半尾ニテ右廻リ 百子眷属  
引ツツくト幕ヲ方<sup>キ</sup>見 平地ニ波瀾ノ多クテ

左ヨリ寸シテニ立<sup>カ</sup>ニテ舞入<sup>ル</sup>ニテ柱ノ先

ニテ面<sup>ミ</sup>ハ開 亦法ヲ使<sup>ス</sup>ト<sup>面</sup>使<sup>カ</sup>ナカラトニ尾

具外妙法ト面上 又持法ト立 樂音乾運

婆王ト開 海<sup>ノ</sup>雅<sup>ノ</sup>河<sup>ノ</sup>浩<sup>ノ</sup>王 死<sup>ノ</sup>候<sup>ノ</sup>阿<sup>ノ</sup>修<sup>ノ</sup>死<sup>ノ</sup>王ト

左ノリ拍子フミテ開 恒<sup>ノ</sup>依<sup>ノ</sup>眷<sup>ノ</sup>属<sup>ノ</sup>引<sup>ノ</sup>ツツくト

右ノ方ヲ返立ル<sup>ル</sup>扱ニ肩ニテ横ニニツツサナカラ

面へ先へ公開 座別セリト足ヲクミテ安座

又一足ニ飛上リ 安座シテモ

安座シテ幕前へ寸シ 女杖又キ持

松フハ白玉立ッハ保ノト 居立<sup>キ</sup>左ノ袖カツキ

空色モト面ノ上見 海系ヤト右ノ方へ見廻シ

沖行分リト立<sup>カ</sup>シテ右へ廻リシテ柱ノ側テ

小廻リ面へヒラキ 舞<sup>ノ</sup>勸<sup>ノ</sup>例<sup>ノ</sup>めシ

ハ大<sup>ノ</sup>龍<sup>ノ</sup>王<sup>ノ</sup>ヨリ拍子フムニ

シヒ<sup>ノ</sup>チ<sup>ノ</sup>ラ<sup>ノ</sup>ヨリ拍子フミテモ

ハ大龍王ハト面公開 ハツノ符ヲカケムケト

女杖ニテ顔ヲ示シ 取<sup>ノ</sup>春<sup>ノ</sup>日<sup>ノ</sup>野<sup>ノ</sup>ト示シテ

角へ行キリト廻リ 舞<sup>ノ</sup>ニ<sup>ノ</sup>ホ<sup>ノ</sup>リト左ノ袖ヲ  
返シ



角ノ右ヘノリヨシ拍子ニツフミ 正ヘキツト也

トフヒノ野守モト 袖モトシ左ヘ廻リ 中ニテ

摩耶ノ誕生ト左袖返シサレ分シテ見廻シナカラ

シテ柱ノ側ヨリ 先近ナリヤトワキヘ行カリ

ム子サシカテ 傍入度ハトアトヘ返返リ下ニ居

居立カ杖ツキテワキヲ見 渡天ハイカニトワキヘ

ガツツシカ杖ニテワキヲサシ 備伊跡ハト立右ヘ

小ッ廻リ 中ニテ尋又ニマト四ノ用 尋テモく。

出。上。嵐。ノ。ト。拍。子。右。ヘ。ノ。リ。雲。ニ。ノ。リ。テ。ト。左。ヲ。リ

サシテ正えへか 後口へ返返リ 南方ニ花云

行ケハト 幕ノ方見 袖袂ハ後沃ノト左ヲリ

角ノ方見込テ 角へ行 〇ケタテノく。ト拍子

又飛上リフミテモ 其丈ノ尋ノ大蛇ト敷テト

正ヘニミツリシテ 延ヒテ見セ 天ニムラカリト

ム子サシ上ツ見テカ行カリ 地ニワタカニリテト

左ヲリテツリ返リシテ柱ノ側ヘウカリ

池水ヲ返シテト 後へ飛返リ下ニ居 袖カツキ

歩杖ツキ 也ニ袖ハ子テ立 右ヘニ是カ 拍子ニツ

矣ニケリ 幕入



通小町

男仕立 浴見侍也

面渡男 (唐衣 緋子袴 袴) 着甘白練 佳 嵐也 水取 浴衣

手取 黒色ナリ 袴 赤

カウキ小袖 厨子目 一着甘白練 一浅黄奴袴 一腰きき地白

一腰男 一黒頭 右ハモギドウ

一モイ 不敷 袴上歩行也 ツレテノ公ヲ見合

年々入

ツレツル時 袴掛リニテ松アリニテ返向へ

恨ルヘシト 早キ向 早カリ給へ水僧トカツキ也

厨子目 女上テワキシリ コハイカニトカツキ ウツキテ

授ケ給へ 甲斐モ有レシトワキ向 早返リ

給へヤト 厨子目上ケテ早シリ 水僧ニテ

ツレ 厨子目カケレハト左ヘトリテ大敷ノ前通中へ給 也テ有僧ニトシント 但中ヨリ女前へ

ウツキテ 正へある カミシノ ホニヒテ トカツキ

厨子目上ケテ後只檢テ ムツキ トケ面

尾花ニ子カバるレカシト 左ヲリメニツレ向 右ヲ子

ツレニツミヨ 思ヒ山ノト ウ オス 煩悩

面ヲモテ 女左ヘトリテ 大ト ツテ トシテ 柱ノ

例ニテツカト行 右ニテ メ ナルト 雜シト

右ヲリテツレヲキツト 右 ツレ 向 ツレ 向 ツレ 向

入 袂ツエテトツレノ右ノ袖ヲ 右ノ 子 ニテ 云

右ヲリテ左ノ子モ掛 引ト ル ト 解 シ カ ケ テ

引 ツ



引ル袖モトツレノ方へ瞬クテ引ル

ヒカフルト又シテノ方へ引 我紋モト取リカ

共ニ泣ノツ。ト拍子フミ 漆草ノ女將ト

有ノ方へニシテ公テワキへ向 ツレト並フ振ニ 弓引正兵

元ヨリ我ハト強ナカラ地強ノ方へ下ス

百夜通へト傍リシトツレへ 誠ト思ヒト面フ也 右ツレメニ面ヲ持

向へ 喉フトニ悉ヒ車ノ撮ニ行ハト面 トモ

コシ車ハ云ニ及ハストツレへ トモ イツカ思ヒハト向へ

山嶽ノ本備ノ里ニ馬ハアシ共ト正へ 取 公テ

ヲ君シ思へハトツレへ 手トツレ見 カチハタレト友へトリクワロキ

ニテ柱ノ側ニテ 柱見 竹立ニ持兵 竹立ニミノト

竹立ツル ツレ 月ニハ行モ暗カラスト向テ ツレ

袖ヲオハラヒト ツレ 左ノ袖ニツハラウ 目ニニへ又ト竹立

ツレへアテ ニ及リモ 鬼口モト竹立ツルモ面正へ 身ヒ

トリニナル 竹立ツルカシ 角ハ振ニ女シ公テ角ハ

後ノ雨カト 竹立ツルカシ 角ノ上ヨリ見テアト面フ也 竹立ツルカシ

竹立面へアテル振ニスル 後ノ雨カト 竹立ツルカシ 拍子フミ

立廻リ 竹立ツルカシ 面フ也 竹立ツルカシ 角ハ角ハ 竹立ツルカシ

左へ廻リシテ柱ニテ 後ト小廻リシテ竹立面へ 竹立ツルカシ

荒ククラノ夜ト後 又ト廻リ更向竹立面へアテズ 竹立ツルカシ

訊テモ



カエノ及ミ中ニツヘ向  
夕暮ハ何トトツレヘ ヒトカメナラヌト云ク

月ハ侍ラシ月ヲ侍ラント云クツルトトククモ

公 我ヲ侍タシトツレヘ向 ツラコトヤト云テ

ツレシサシテキツト見 同時仕立ノ内へ 云ハ云ハ開 ツラコトノ字ノ引テ云ク

アカツキハ アカツキハト拍子フミ 敷ク多キ

思ヒ去ト角カ前夫 我為ナラハト云ク廻リ 正ヘ向

右ヘヨリメニ 夜モ明ケヨト 東ノ方へ 雲ノ解ニテ不聞ニ定ム

又肩ヘ寄上見テモ 堂ノ内ニ在リ 只揚ラぬナラハト 正ヘ向

思ヤリ 堂ノ内ニ在リ ツラカラシト 面ヲモ 側ニテ云シカリト云ク 榻ノ敷ミト

左ノ方ツク 又云シト云ク見テモ ヨシテ見タレハト 指折テ見 思ハツテ見ス

今ハ夜ヨト 又云シト云ク見テモ トクト見 此シヤトテト云ク 面上

侍日ニ成リ又ト立左ヘトリ 侍日ニト云ク 大おおヨリ 右ニテトメ 志平へ行

姿ハイカニト上リ 右ツリテ云ク 竹立モ見 右ツリテ云ク 苦シト云ク見テ

右ノ方へ檢 カサ折為帽子ト 春又キヒロケテ

面ヘカサシ 表ツモ脱ステト 廊上ケテニ云ク 右ツリテ云ク

右ノ方へ春ツクシテ見 花スリ衣ノト左右

ウラ紫ノト開 春務ト 左ツリテ務見

荒崩シヤト云ヘ急ク心ニテ女公 スハ早



今日モト西ノ方ノ上ラ見 正命 衣伎ケリカク  
衣伎ケリカクト達シスルハクニふム上ヨリ胸ノアタリへハヨセテ  
ソラハト後ヨリシテカラヨシ左右へ分ル但面ハラキリトシテ居ル  
左右シテ三へ特シ垂シヒキツクコヒト柏子  
但衣伎カクテヨト左右ヨリハ右ノ形シテモ

欵酒ハイカニト カク内ヨリトシテカ 庭左へ丸ナカラ西見へハカシテ

下ニ床 毒ハ石ノ形ニカ 月ノ盃ト 右ノ上見 毒ニカ

イシメナラハ保光トト 半ツニ 唯一念ノト  
面斗ニテワキ見

麻抱テ右へ是ラカケシテ柱ノ方ヘリツクキ

多クノ罪ヲ感シテト ツ 子存西へ公行カリ

小節ノ小節モト右へ廻リ 右ノ上見 毒右へ丸クニシテ  
右廻ル

シテ シテ 例テ更ノ間合事 右ニ更ニ柏子  
ニツ

トメ 毒命入  
右朱書ノ形ハ文政七甲申歲六月十日言 証言能 清陽 功勤

### ツレノ仁爪

湯ニ度 モアリ 湯ノ中へホノ葉入  
カヒトリ 左ニ執持 湯ニ必帯

扱モハ淋ノ山里ニト右ウケ 今日モ又糸ラハヤト

思ヒト 正 思メ 足へ向 必ツニ思ト訊

又ツラ来リテトト訊ナカラ中へハ 下ノ糸 下ノ糸  
糸下ニ垂

拾フ木ノ実ハト訊ナカラ西へ 花冬ノナノ野

ワキノ洞ニ 正 ハツカシヤオノカ花ヲト 面フニ  
正 正命母死トヒトトニ思  
小節トハ云ハシト 正 立シテ柱多ク多クキ 住親母不

足向 端トヒ 佐ハ内備トテト申程トカシテ

口由語トテトちく也リテニ後後之者ニ耳



刀キ消ス取ニ共ニケリト申案ニラたせり

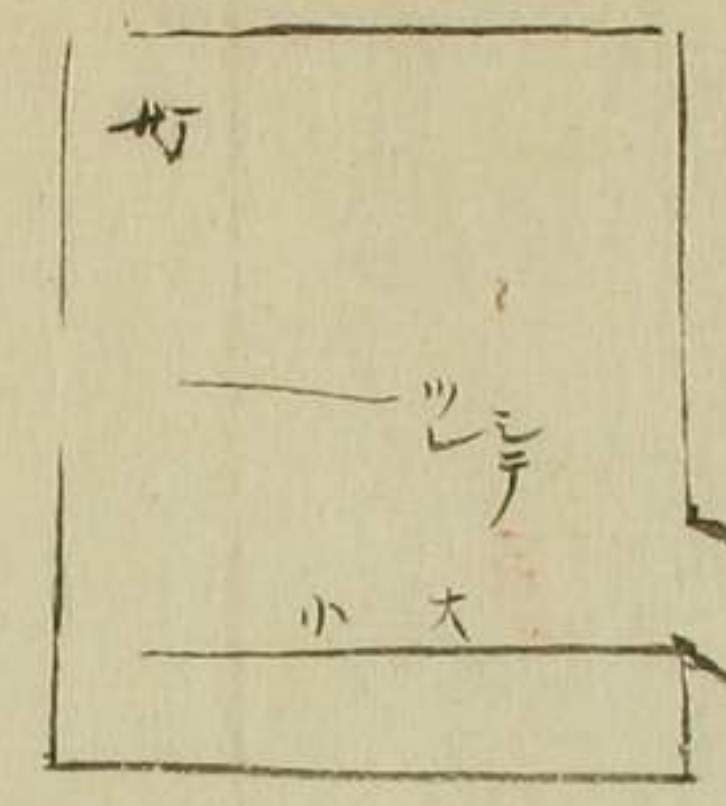
五位 遠見座へ行下ス名

五イシテハ <sup>タラハ</sup> 見合立シテ拒之へ公

早へ向訊 <sup>シテ遠ニ向</sup> ヲハイカニトシテ向 <sup>シテ中</sup>

テテ向テ見 <sup>テテ向</sup> 出テ出僧ニトハシト左へトリ

テ大教ノ初ノ先へ公ハ向



是ハ山ノカキキニテト  
シテハ向 <sup>ハロシノ</sup> 早  
早へ向 <sup>早ハテ</sup> 早  
トツシノ先へハカフルト又  
シテハ先へハカフル

オタルト難シトシテ向 <sup>也</sup> 也ロシノ早ヤト之向

深草ヲ得ト早 <sup>早ハ正</sup> 本番我ハト訊也

地 <sup>地ノ</sup> 早ノ上へハカフル <sup>早ノ上</sup> 早ノ上へハカフル

喜通 <sup>喜通</sup> 早ノ上へハカフル

### 盛久

ヒ夕面 <sup>毎夜</sup> 白大口 <sup>腰</sup> 脇 <sup>白</sup> 腋 <sup>白</sup> 腋

夜 <sup>夜</sup> 早 <sup>早</sup> 白 <sup>白</sup> 脇 <sup>脇</sup> 腋 <sup>腋</sup> 懐 <sup>懐</sup> 懐 <sup>懐</sup>

後 <sup>後</sup> 梨 <sup>梨</sup> 女 <sup>女</sup> 島 <sup>島</sup> 白 <sup>白</sup> 鈴 <sup>鈴</sup> 丸 <sup>丸</sup> 掛 <sup>掛</sup> 並 <sup>並</sup> 密 <sup>密</sup> 腰 <sup>腰</sup> 草 <sup>草</sup> 小 <sup>小</sup> 刀 <sup>刀</sup>

伸 <sup>伸</sup> 持 <sup>持</sup>

九 <sup>九</sup> 三 <sup>三</sup> 燈 <sup>燈</sup> 右 <sup>右</sup> 三 <sup>三</sup> 品 <sup>品</sup> 敷 <sup>敷</sup> 珠 <sup>珠</sup> 持 <sup>持</sup> 唯 <sup>唯</sup> 多 <sup>多</sup> 方 <sup>方</sup> 座 <sup>座</sup> 付 <sup>付</sup> 何 <sup>何</sup> 事 <sup>事</sup> ナ <sup>ナ</sup> ク <sup>ク</sup> オ <sup>オ</sup> キ <sup>キ</sup> 地 <sup>地</sup> 儀 <sup>儀</sup>

唯 <sup>唯</sup> 子 <sup>子</sup> 方 <sup>方</sup> 座 <sup>座</sup> 付 <sup>付</sup> 幕 <sup>幕</sup> 上 <sup>上</sup> 歩 <sup>歩</sup> 行 <sup>行</sup> 公 <sup>公</sup> ナ <sup>ナ</sup> カ <sup>カ</sup> フ <sup>フ</sup> イ <sup>イ</sup> カ <sup>カ</sup> ニ <sup>ニ</sup> 去 <sup>去</sup> 屋 <sup>屋</sup> 敷 <sup>敷</sup>

ニ <sup>ニ</sup> 中 <sup>中</sup> キ <sup>キ</sup> ト <sup>ト</sup> 儀 <sup>儀</sup> 執 <sup>執</sup> ニ <sup>ニ</sup> 歩 <sup>歩</sup> 行 <sup>行</sup> テ <sup>テ</sup> 正 <sup>正</sup> 先 <sup>先</sup> へ <sup>へ</sup> 出 <sup>出</sup> 下 <sup>下</sup> 三 <sup>三</sup> 尺 <sup>尺</sup>

合 <sup>合</sup> 掌 <sup>掌</sup> シ <sup>シ</sup> テ <sup>テ</sup> 南 <sup>南</sup> 無 <sup>無</sup> ヤ <sup>ヤ</sup> ト <sup>ト</sup> 訊 <sup>訊</sup> 一 <sup>一</sup> 生 <sup>生</sup> 二 <sup>二</sup> 念 <sup>念</sup> 下 <sup>下</sup> 三 <sup>三</sup> 尺 <sup>尺</sup>

義 <sup>義</sup> 法 <sup>法</sup> 在 <sup>在</sup> 幾 <sup>幾</sup> オ <sup>オ</sup> シ <sup>シ</sup> ヤ <sup>ヤ</sup> ト <sup>ト</sup> 面 <sup>面</sup> 色 <sup>色</sup> イ <sup>イ</sup> ツ <sup>ツ</sup> カ <sup>カ</sup> 又 <sup>又</sup> ト <sup>ト</sup> 執 <sup>執</sup> ニ <sup>ニ</sup> 之 <sup>之</sup>

前 <sup>前</sup> ニ <sup>ニ</sup> テ <sup>テ</sup> 面 <sup>面</sup> ハ <sup>ハ</sup> ス <sup>ス</sup> ニ <sup>ニ</sup> シ <sup>シ</sup> ケ <sup>ケ</sup> テ <sup>テ</sup> 床 <sup>床</sup> ル <sup>ル</sup> ニ <sup>ニ</sup> カ <sup>カ</sup> ル <sup>ル</sup> 早 <sup>早</sup> 於 <sup>於</sup> テ <sup>テ</sup> 名 <sup>名</sup> 宗 <sup>宗</sup> 派 <sup>派</sup> テ <sup>テ</sup>



三つ向イカニ云云カホリハト云云（幸）

見渡セハトハカリノ心 瀬田ノ長橋ヲ渡リト

下心（幸）甘ケテ右廻リノ橋カノ人行 廻六野道ニト

橋カリニテ左トリ廻ルニ一ノ松を行 宇野山ト

臨ハイニト上リ西ノ向 三保ノ入海（女）ト右ノ方カ見

廻シ 雲ノ底ヲ根箱根山ノ常ノ如ク又

昔ニケリト中程ニテ言ハレテ行上リ返シヨリ

鮎ヘトリ地蔵ノおへ行正ハスニ向 亦ホカニル

見合セテカシ臨 実カニ身ノ習ヒカヤト面フセ

天晴トウ切レハヤト面ハツキリト 去屋及上ヤト宇命

立テテ之程下系 柵モ地程去屋及ノ所ヲ志ト

改テめル 二番述ノ所ヲ志カヘシト面フセ

我々年月ト云也モ 巾服ヲ脱リハト早人

去屋及是ニテト早人（以）係テテ向テテヨシ 持カレ候ハモ候（幸）

ヒロケ見テ下ケ 面正ノ向テ有難ヤト臨

アニ處ニテアラサヤト 跪上ケテ見 ワクサウ王難苦

ト濱 刀身股ミエト 濱テ戴 実ヨクト跪下ケ

早ヘ（女）向 又衣悉意退散ト云 実頼モ

シヤト早ヘ向 全今ノ者

ニハ文ヲト見 誦スルニアラスト臨内ニワキ

例ヘ来ル 隣ハモ候ニ 早ノ方ヘ出ス候ニテ見セ也

スガノ道トマ新有



余ハ惜マズ  
テ字ノビヌマウニズン字ニシヨカリト

種々欲惣取ト早ト入テ讀ハ文ノムクハトウ

イトケ有難シト理トテ裁今ハ情ニ入ト居立

テ早ヘ向只後生コソハト面モテウクホ

我ガ為ノ世ヲ見ル

テ即ニ理モテ左ニ持三世ノ利益アヌヨリ

眠心類モレヤト強解テ  
シハツキリトシテ

若不思欲ヤト汎若首難ヤイト面下ル

●經戴キテモ

早ノ詞ニ重シ左ニ全沈ノ所館ト館ヲテオト見

見ガシモ

右ニ思ヒテ珠ノツフト右ニ心付  
且ヨクト立心ト

都ニ立テニ是出  
夢路ヲカント都ニ寄テ

向ハ右ニ廻リ後世ノ門カ感ラント強ハイニ

レテ柱ノ先ニテ大教ノ方ヘ向ヒトメ地九ニ西向

又汎ハイニ正ヘ向テモ

ニ是ガテモ

盛又マカテ座ニ並リト足付柱ノ前ヘツクト出

右ノ膝ツキ安座西ニ向ヒテト正見テ館ヒロケ

此名ヲ稱ヘテ得ケレハト跪ヨミテ観念ノ心

チカ元カカシテテ右ノ奥投ル

盛久モ思ヒノ外ナレハト跪下ケテ面ウク正見ト

櫛刑欲毒飲ト館カヒテリ

跪文アラタニ是ナキト取立跪ツ上テ見也此カ面モ

跪文アラタニ是ナキト居立テ跪ヲ正ニテ

見 鈕股ニナリニケリト左ノ肩持カ跪正ニテ

經リヤウカテテ



大カツ見込 末世ニテハ毎カケリト正へ向

荒有程ノ休後マト始見テ哉 トキトニ信 切切ニ信 荒

急ハ前ニ系トトワテ 此後度々ニ重シハト

ワテ面トケ 召ニ従ヒト 正へ此ニテ立右へ是

カケテ 鎌倉殿ニ系リケリトセニ、後見程

へクワロキ下ニ兵 既降殿 後見え 物着

同カニ島島トヒクシヨリ前(正系リトト云)  
物着降テ立シテ柱立ニテツクトハル時

ワキイカニ盛久ハ前ニテト正へ心付テ下ニ兵

両手ツキテ 正へ正ノ支へ 向 何ツカ隠シテ

へキトワキへ系斗上ケ 不思成 其後ツ蒙リテト

ト 正 願トケル 畏ツテト云テ 起テクリツ後

ナカラ左へ向立 大ハカヨリ中へ公テト云ル

クセノ前 正へ向 上ノ前 名ノトメ 正へ向

カ切正へ此ニ 願名是ツ中ニ召トあツキテ

正へ願トケ 赤リナカラ左ト右トリ後セリト云  
感後ツ尚メ系ト左ニテシホリ シホリナカラ左ト右トリ後セリト云

ナカラ 正 揚色リノ方へ向テ シテ 例アツク入行時

・後トリナカライニ盛久ト云テ更而此ト云ニ兵至平依シテ  
・正ニシテモナキト云ニ兵至平依シテ又平依ニシテモ  
イカニ盛久 替シトト上リ 決然系ト上テト正へ 左トリ

心付テ 正へ正へツクト行 正へ下ニ兵 ありツキ 願トケ 正へ正へツクト







鶴亀

シテ  
ヒ之面 厚冠 色鈍毛 若竹扇 羊切 狩衣  
腰帯モヨシ 三ツリ白帯 唐国持

鶴

亀

唯子方地陰を付テ

他リ物一丈量 太宮クニ立 大小ノ前へ出ヌ

狂言明所

真ライニ席合ニツツテ幕上静ニ参ミ公

ワキモ流ヨリ出ル シテ柱ノ側ヨリ見付柱ノ前ニ

上の直ニ出テ左ニテ是トメ 他リ物へ向テ且見ラ見 屋根ヲ見

又ヨリ側へ行テ一丈量へ上リ正向ニ座ルニカニル

ワキ大長 厚付キテ太コソクト 見合テ視出ス

名解モハカラ兵ト 面斗ワキへ

之度上ニ糸向ヤケレハト左右トワカメツリ

君モ仰威ノ作リニヤト且屋ヨリツリ 糸樂ヲ差

シテ糸樂フトカケテ同 糸樂 樂

トメ左右ナリ同 月宮殿ノト左右ニテ公認へカニ

同 色々如ナルトカケテ同 秋ハ時雨ノトカニテ

前へ行小ツ廻リ角ニ 左ノ袂ヲト左ノ袖カツキ

左へ廻リ 雲ノ上人ノ糸樂ノ色ニト申テ之同



ケイジマウウシ。曲ト柏子ホウ。山河草木ト袖色

ワシ方シテ右へ廻リ 舞終ハト中ニテ正へ用

宿人駕輿ヲト左ノ身ニテ正へ公左右ノ袖巻

仕手柱へ行小廻リ正へ方込袖モトシヒラキ

左ノ袖色ニ右へ正へ公 目公度ケレト柏子

出端ニ戻ニテ羽巻ト出ル 物カリニテ是ト

右ノ袖巻勝ス時 地ヨリ巻ハ万筆ノ袖

舞終ハト正へ公ニテ 正又ラト用

ニ戻ノ舞 正メテ又ニノ如クハ廻ル

トメ左右方込用 十代ノタメニト左右方込

開 保ノ巻モ舞終ハト 各中正へ公用

丹頂ノ鶴モト舞中正へ行ヨリ

一千筆ノト二人共ニワシテ右へ廻リニテへ向

右シウケテニテへ公用 正上ニ系向ト

トニ系 君モ御威ノト正角ノ上へ

行ト下ノ系

### 弘永慶

早ヨヒカシ幕上 武節及トハト汎ナカラ公ル

ニノ松アケリニテトメ正へ公 是ハ思モヨラ又ト早へ

和ニテモ和ニテキハト正へ 荒何ヲヤ以ト正ニシカ



自ラハ供ヤト早へ 装コトクシヤイト向

面フロテ 徳ミ物ヲ兼スニト汎 童系リト早へ

ワキノ汎舟テ 常高又子方見テ中へ下ス

ヨシナキ武蔵殿ヲト早へ 返スルモト面フロテ向

是ハ舟出ルハト早へ 波汎モト向 増リテ惜キト

子方人 君ニ三度ト見込 老ニトソ思フト左ニテ

シホリ向 具時都ハ立上リト 立 右ノ子雅ニトケ

渡ロト石ウケ 波濤ノトガビテ用 先ニ三島船

子ノ外石レ以ハト坐テ左ヘトリ竹田ノ前ヘツツロキ

下ニ瓦 鳥羽子着 後見ニテ後口ヘニワル

鳥羽子着テ立右ヘトリテ 中へ出ナカラ 立ニ舞フ

ヘクモト汎 中ニテ 袖チフルモト 左右歩込開

立廻リ 如常 匂強ノ存意ツト子方人向

ニ返ツメ 赤巾ニ向 切ツ丈ト吸ヤト相子 政ツト

正ハ公用 切右ト三度ツト角又 心ノコトクト左へ廻リ

舟退ソクト中ニテ向開 天ノ道ト上ラ見 小船ニト

カニ廻シヒラキ 五湖ノト左右赤込 存ヒロケ前へカレ汎

有明ノト開 存上 月ノ都ツト左へ行 フリ接テト

相子ヲミ 西海ノト右へ行 舟身ノ科ノト子方ノ側へ

赤込 二度出テ下ニ瓦 歎キ絶々ト立 面残スル

ニシテ 左へ廻リニ柱ノ側ヨリ ツヒニトカニ角又



春子<sup>シ</sup>在<sup>ハ</sup>廻<sup>リ</sup>大<sup>小</sup>ノ前<sup>ニテ</sup>子<sup>方</sup>ノ<sup>ハ</sup>朽<sup>シ</sup>果<sup>ハキ</sup>

テ<sup>ハ</sup>必<sup>ズ</sup> 只<sup>頼</sup>メ<sup>ト</sup> 春<sup>冬</sup>ニ<sup>シ</sup>ナ<sup>カ</sup>ラ<sup>ズ</sup>右<sup>ハ</sup>廻<sup>リ</sup>大<sup>小</sup>ノ

方<sup>向</sup>ハ<sup>カ</sup>リ<sup>申</sup>ノ<sup>兼</sup>五<sup>尺</sup> ト<sup>メ</sup>カ<sup>ク</sup>春<sup>前</sup>ノ<sup>子</sup>

カ<sup>レ</sup>モ<sup>ク</sup>サ<sup>ト</sup>看<sup>上</sup> 持<sup>申</sup>申<sup>下</sup>左<sup>右</sup>ハ<sup>区</sup>同

形<sup>ノ</sup>派<sup>ノ</sup>ト<sup>多</sup>ク<sup>ハ</sup> 正<sup>ニ</sup>右<sup>ハ</sup>廻<sup>リ</sup> 松<sup>テ</sup>ハ<sup>竹</sup>ニ<sup>ト</sup>

子<sup>方</sup>ハ<sup>公</sup>子<sup>カ</sup>シ<sup>テ</sup>ハ<sup>中</sup>テ<sup>同</sup>下<sup>ニ</sup>ス 舟<sup>子</sup>左<sup>ト</sup>

庭<sup>左</sup>ノ<sup>看</sup>上<sup>ケ</sup>持<sup>セ</sup>リ<sup>ノ</sup>方<sup>見</sup> 木<sup>切</sup>ニ<sup>並</sup>シ<sup>ト</sup>下<sup>下</sup>院

春<sup>冬</sup>ノ<sup>ム</sup> 春<sup>冬</sup>ノ<sup>有</sup>リ<sup>ト</sup>子<sup>方</sup>ノ<sup>向</sup> 朝<sup>ハ</sup>正<sup>ニ</sup>ト

正<sup>ハ</sup>正<sup>ニ</sup> 鳥<sup>羽</sup>子<sup>並</sup>垂<sup>脱</sup>捨<sup>テ</sup>ト 左<sup>ニ</sup>テ<sup>正</sup>果<sup>シ</sup>ノ

毎<sup>ツ</sup>引<sup>果</sup>シ<sup>後</sup>ニ<sup>深</sup>ニ<sup>ム</sup>セ<sup>フ</sup>ト 左<sup>ニ</sup>テ<sup>正</sup>ホ<sup>リ</sup>也<sup>ニ</sup>

右<sup>ハ</sup>是<sup>カ</sup>ケ<sup>テ</sup>正<sup>ニ</sup>極<sup>ノ</sup>側<sup>ニ</sup>テ 表<sup>裏</sup>ケ<sup>リ</sup>ト<sup>ト</sup>メ

正<sup>ニ</sup>シ<sup>ム</sup>ツ<sup>ト</sup>ケ 春<sup>冬</sup>ノ<sup>入</sup>

後<sup>シ</sup>テ<sup>面</sup> 阿<sup>月</sup>モ<sup>ト</sup>ラ 夕<sup>カ</sup>テ<sup>モ</sup>ト又<sup>十</sup>種<sup>目</sup>モ

後<sup>早</sup>留<sup>ニ</sup>後<sup>カ</sup>ヲ<sup>ノ</sup>子<sup>方</sup>ノ<sup>中</sup>テ<sup>春</sup>冬<sup>上</sup>右<sup>ツ</sup>ウ<sup>ケ</sup>モ<sup>後</sup>

ハ<sup>ス</sup>ニ<sup>カ</sup>テ<sup>右</sup>ノ<sup>方</sup>ヨ<sup>リ</sup>正<sup>ニ</sup>見<sup>廻</sup>シ 子<sup>方</sup>ヲ<sup>見</sup>テ

カ<sup>レ</sup>テ<sup>カ</sup>リ<sup>長</sup>カ<sup>右</sup>カ<sup>正</sup> 左<sup>ツ</sup>リ<sup>テ</sup>春<sup>冬</sup>ノ<sup>入</sup>

正<sup>ニ</sup>極<sup>ノ</sup>見<sup>テ</sup>正<sup>ニ</sup>同 棉<sup>是</sup>ハ<sup>正</sup> 年<sup>知</sup>盛<sup>ト</sup>

カ<sup>レ</sup>テ<sup>正</sup>ニ<sup>年</sup> 荒<sup>流</sup>ラ<sup>レ</sup>マ<sup>ト</sup>子<sup>方</sup>ノ<sup>面</sup>中<sup>ニ</sup>テ<sup>見</sup>

思<sup>ヒ</sup>モ<sup>ヨ</sup>ラ<sup>又</sup>ト<sup>右</sup>ハ<sup>正</sup>ニ<sup>同</sup> 是<sup>ラ</sup>知<sup>ハ</sup>ニ<sup>公</sup>舟<sup>ノ</sup>ト<sup>子</sup>

正<sup>切</sup>ニ<sup>左</sup>ツ<sup>リ</sup> 正<sup>ニ</sup>正<sup>ニ</sup>同 其<sup>有</sup>極<sup>ニ</sup>ト<sup>面</sup>中

正<sup>ニ</sup>子<sup>方</sup>ノ<sup>見</sup> 又<sup>義</sup>極<sup>シ</sup>モ<sup>ト</sup>左<sup>ツ</sup>リ<sup>テ</sup>子<sup>方</sup>ヲ<sup>見</sup>



左へ廻り イフ波ニ浮メル長カニ坐レト足舟  
 柱ノ方向テ長カニ坐レ右ツツニ坐シ 越ニ右ツツテ  
 長カニ坐レトヘキメテ見 又長カニ坐レ左へ飛  
 返リ足舟柱ノ方向トテ見 アメリツ掃ヒト立テ  
 長カニ坐レトカラ教ノ上へ上テ足舟柱ノ例へ行  
 潮ヲケタテト桐子フニ 忽ルシ吹カケト長カ  
 子方ノ方へ公ニ面キツト子方ツツ見 眼モツラニト  
 シテ柱ノ方へ 越ツテ長カトケキメテ右へカヒ込左ヲ  
 シテシテ柱ノ例へフニ越シ廻リ之ノ間 舞御  
 桐子フニ 角ニ足トメス左へ廻リ 子方ノ前ニテ

行カリニ 子方ツツ見 越ニ左ツツテキツト見ル 腹ニ  
 左へ廻リシテ柱ノ方ツツ 子方へ右ツツニ公ニ長カ  
 九坐レ 越ニ右ツツ長カニ坐レトケキメテ 長カ  
 ズツト後ノ上ラ上 子方ツツ見テツツノト公長カノ  
 ホモツツキ込 越ニシテ込へ飛上リ 長カトケテ  
 トニ辰ニ辰メ 立シテ柱ノ方へ 越ツツ 長カトケ  
 キメテ右へカヒ込 左ツツテシテ柱ノ例へフニ越シ廻リ  
 シテアトへ飛返リ 右ツツテ長カツツキ 肩へカケル  
 左ノ子モ長カノ柄ニカケル  
 女ウツムツ振  
 舞ノトメ  
 中物扱持ト子方へ面トシテ見 云舞ツカハント長カ上  
 テホモツツツツト見 桐子方ノ例へ行上下ニテ合ヒ



此ニ九玉シ右ツリテ下ニチカク 戦ヒ終ハト

右へ飛返り下ニ糸 舟度カレ隔テト岸へ

長カキメテキツシ 舟物ワサニト立左へ廻リ

東ニモニテト脇正ノ方右へ行セリ 東方清ニ母ト

長カ知シテ子方ノ方へ行 西方大成徳トシテ

柱ノ側ニテオカリ<sup>右ツリテ</sup>長カ下ケキメテ 金剝夜又

明王ト子方ノ前へツリト行<sup>左ツリテ</sup>中央大聖ト左ツリ

正へ向テ オツクニ掛ニテアトオカリテ長カ前へ

下ケ面モフセ 祈リ祈レト長カ左ノ方ニ提ケテ

樽ヨリへ行 舟度舟子ニカツ合セト左ツリ

面ツ<sup>右ツリテ</sup>子方ツリテ 長カモ後ニ檢 太刀又キ

右へ飛返リ 猶 恐ユハト 舟度舟子入太刀上テ

子方ト上ニテチカクトニ糸ヲ太刀提ニシテ左ノ方へ

ノセ<sup>頸ノ上</sup>上テ請 遠拂ヒ祈リノケト右へ

飛返リト<sup>太刀ツキ</sup>糸 又引提ニト 西へ行ヨリ左刀更リ

へ掛左ツリヨリエテ左ツリツリ返リシテ樽ヨリノ方へ

ニツクハツシチカク 立テ樽ヨリへ在リ行 幕キワ

ミテノリ込柏子ツツコ右へ飛返リトニ糸太刀ツキ

此ニ立右ニアシ 威ニケルト柏子ツコ幕中入



梅枝

シテ新澤井 藤子

後シテ 色ナシ草花 舞衣 藤子カ 誓カ

唯子方地蔵元付テ他リ物大少ノ前ハ公ス

シテ他リ物入テ公引廻ニ有 口キ左行ノトメニ

引廻シテロス

エト官人ハ誰ヤラント口キへ 是ハト云 実ニ此方ノ

ホ奉ト口キへ命由ミト云 一ヨラ明カセト立左テ

テラ押アテ物ヨリ公女右方ノハスニ出テ口キ命

袖ツクカニキテ泊リヨラマト下ニ尻カ切ニ正へ向

一西北ニ雲起リテトカ切ニ希上テ獨彼日差

ヲ後見持公正面見へ公ニテ他リ物ノ戸  
ツエノ如クニ立テハ梅枝カキテ云々

旅人ノ差ヲ見スナヨト 面ヲセヨ持

実然不審ト云へ 同シクは他ニモト云へ

又モ彼ニ空ニ成テト云へ 怪縁ナカテト云ニテ

イマトヨリトト云テケ云々 口六何テト云へ

ナフ何レモト云へ 猶モト云へ 右彼ハ折ズのみ

何モカヒナキト云 其切ニ立シテ他ノ先ノクツ口キ

又立海ト云へ向カ出ラ 又ケ徳トトヒ云



去捨テト衣少廻リシテ柁ノ例ニテ之ノ用

中入

後式ニ若首軍法者ト云ハニ幕上幕ニ寄リ公

シテ柁先ニテ汎一ハイニ開トスル 柁ヨリヨリハ取

実ヤヘキ玉ノト宇へ切 キリフクロニハカウストハト

中へ公テ <sup>テヨト左ニテトメ</sup> 左ニテシホリナカラ下スル 去ナカラト下ケ

軍ヲ是 去ニテモト云 力カサレテト立 <sup>立</sup> 立

惣取ニタシタシヨト拍子 立ハニヤト部ニハ掛

去衣ノト開 去ノトニシテシテ 送ッ敷キト

衣上テテ及ツカシ 去將衣ト左ノ袖カシ見テ去

袖ツノケ 常ニカサレトカ正へ公行カリテ羽取

シリ 去衣取ノトム子カシヒラキ 衣モセス起モ

去ト角カ 去ト左廻リ 中ニテ 振捨テト正用

去トニ取ルヘ下ヤへ向ニ直ツメテモ 思ヒカケルト取

起ルハト左を <sup>正取</sup> 正取ハカ 柁カ 柁カ 柁カ 柁カ

去取開 教ナハト左へ身ツトリ正へ公思ハシクト

開 去志シ草モト衣廻リシテ柁ノ例ヨリ



岸ニオフトフトサシテ角え毒ガサシ是トメズ

左へ廻リ 大小ガサテ九右ワキへ向 女切ニシテ極えへ

クワキ正へ向 月モ半ナリト 左ヨリメニ右ヨリ右ヨケテ与アリ

夜半來シカナテシト号へ向 心モトモニ住ミテト

ハスニ申へ向テ 松ノ降ヨリ派ムレト見付極ノ方ツ

送ッ見 穢モテスルトガ知テ同見 沖正静ニト

サシ廻リ用 青海波ノ波返シト正へ向テ極テ

ニツ子キテガル カルク 尾スマ袖ノ折ラテト角火

軒路ノ梅ニト左へ廻リ申テ ヲ久へマクト袖モシ

池底ヲサシテ見袖モトジ 梅ノ花トサシ極ニシテ

右へ廻リ春懐へサシテ 大巾ガヨリもあ返ニ物被

ノ前へサ撥後モテ 左へガ返クワケテ後ツケ

花ニマシ 花ノマシワクヒスホヒ 花ノマシトカウツサテ極

サカリ遠拜左右左へ ニリカテ後二本左ニ右へ持

サシテ右へ ニリカテ正へあヌ 流必常 初置ニ後左ニ右ニ

栗トメ左右サ込用 アトハアロハガヤア 面自ヤ号ノ

花ノ影ニ来リサト正へ向テ用 我モ内法ニト左右

ニ是向テサ込用 カエシ今目前ニトサシテ角火 カエシ袖

カエシ



先ユツト袖ハ子テモドシ左へ廻リヌウあま

紫ノ教ト獨教ノあへツクトナリ ウウウナノ我ト

流シテリシテ左ニテホリ中ニトスル 思ハハ古ツト

トケテ立カシ。思ハハ古ペラト袖子六ツフニ

後ルハ猶モト早へ 申セ八月モ入ト西ノ方上ツ見

音楽ノ音ハト西へ五カテツメ 松凡ニ類ヘテ

袖是シカシカシテ右ヲ廻リナカラウケテシテ程

先へ明者ニトナリ返テ右ヘトリ正へ開袖是シ

右へニ足ハ袖子ニツ 後ルテシ 袖冬ニテ入

後見 物カ他ツ物トメル

### 哲テ源源寺

札寸法 三寸五分 二寸五分

シテ也アリ 七右ニ教源持

アインテハ心カ 諸君ニギトメ 儀カ 切ヨリ諸君へ入シテ柱ノ先ニテ足ト何疑ヒト早へ向

身鐘ノ響キト早へ 習シテトニツメ 弘化

朝カト西へ 内ニ生ル、運集ト正ニ意花ハ

何疑ヒノ有キト早へ向 有難ヤトハ掛早前

へ下ニ床 ウケ悦フマト札左へ入 毎々ニテ敷

左ニ持テ立左トリテ立海リ中ニテ左へトリ西へ向



由北ヲイウヤ保老ト北ヲ見ナカラフト三辰ヲ見テ

イカニテト <sup>陰</sup> 由北ヲ見テ六ト北ヲ見 陽ニト

トテケヨ見 イテケト正、 有社石番等

光明遍照トシ 叔ハ娘ニヤト等、 由北ト

北ヲ見、 是人教ヲト再下ケヨ見 唱レハト

正、 由北ト左ノ辰へ入ル 年ニソニテト面フセテ

又 各社ノ屋ノ夕ト面フセテ又 再ハ儀ニテト

又一ツ面フセル心ニシテモ

誅ニケルト正ニ至シ 懐リツモトワテ、 由北ニ正へ

西ニケケラト西上ヲ見上テ 夜ノ念仏ノ早ニ上

ワキヘテヨト向 是ニニ向シテ切ニ至ニテ辰ノ側へ

ツツロキ左トリテ向 生ニ行ニソ娘ニキトワキへ向

冥母樂トトウ、 冥母樂ノ國ナヤトウ、 涼ニキ道ヲトワキへ向

頼リテト <sup>正ニ至シ</sup> 無量罪ト角丸、 又六ト左へ

廻リ <sup>まの中央ニテ</sup> 味赤新ニテ 冥物ヲト正へテ多、 有籍ヤ

トト開 <sup>海子に依成ニト四ツツツト</sup> ハ美徳有ト右廻リ <sup>小ツツツト</sup> け由年等モ <sup>右廻リ</sup>

大小ノ新ニテ正ヲ見テ中へ有奥ニ公下ニ見

佛ト上人ヲト <sup>佛ト上人ヲト</sup> 早シ合掌拜ム、 陰解テ下下ケ

後、 是ハ不思成花ト正へ、 イヤ是モトワキへ

ソモ由年等ノトウ、 臺カ柄ハアノ石階ト

見甘梅ノ方見ル 又梅色リノ方見ルモ

ヨロシ



カノミナ石室ト云ク 我モ昔ハト云ク 春ニモ

秋ヤト云ク、 和カシヤト面フヒテ正ニ云ク

ヨレワレトテモト立ワズク向 和泉寺部ハ我リト

テト云ク 石塔ノ石ノ火ノト云ク廻リニテ柱

先ニテ正ニ開内ヘトリテ必クワキリト云ク

後ハ陽ニ 石紙 又 佛ハニラツト類シ見ル 又 佛ハニラツト類シ見ル 又 佛ハニラツト類シ見ル

正面ノ上ヲ見ク 扉初メ入ニテ柱々ニテ開

正面ノ上ニテ 開ナカラ合掌ニテ法カシハノ石ヲ履ハシテト云ク 又 佛ハニラツト類シ見ル

我モ仮ナルト正ニ云ク 牙舞リ若シ後トト云ク

ニナメト正ニ 笠雲々ナリト云クウケ 常ノト

向ニ云ク 影キヨリト正ニ云ク開 ナカラ復リト云ク

カレテ廻リ云クニテ又開合掌ニテ 佛ハニラツト類シ見ル

大少ナヘ行 生シケルカトト 正面上ヲ見テ開 テモ

又 石口ケニウケニシテモ

石氣多速スト云ク テモ 石目ノ前ト云クヤト云ク

首ニ見山ノト正ニ 油燈めキト開 影ハレテト

前ハ 油燈シゲレト云ク廻リ申ニテ石ヲ云ク



庭ニロケテ前ハカサシ 母ノ人ト閑上ニ

我カニト左ノ行 行カニキト袖子 此法ノト右

行サニテモ後ニト正ニ是ニテ閑 至リクテト

左ノ身ヲトリ西ノ閑 樂ミツト右ノ廻リニテ花

ノ先ニテ 十悪ハ邪ト右ノ大ウケテ正ハ公

迷ヒノ雲モト雲ノ後ニテ閑 正ノ上ヨリ人

志如ノ月ノトリニテ角ノ先ニテ閑 是トメテ

左ノ廻リ大小前ニテワキハテメ 正ハ是ニテト

一ヨリテ 奇舞ノト訊 佛事ヲサセルト右メニ

ナカラニテ柱ノ側ハクヨキ 正ハ向ニ布ニ舞ニ

以中廻リニテ 正ハ向ニ後前ハカガシテ訊

尋ニト上ニ用 各法ニト左右ニテ公説ハ是

閑 祢在ノ後ニト公掛 應ニニ脚ニクハト安

音ノ楽ノ後ニト右ノ方ハ正ハ公テ安 云々香クニテ

オシテ角ノ先ニテカサシ 花階ニト右ノ上テ角ノ上

オシテ見テ是ニ左ノ廻リ 袖ヲ是スマト袖ニ

オシテ分ニテ右ノ廻リニテ柱ノ側ヨリ 貴キ人

トワキハ中ニ其身公テ 利益ハトト閑 世ニ後

正ハ左ト右ノ向 此法ニシテト正ハ公テ云々

正ハ同ニト可シテ右ノ廻リニテ柱ノキワニテ西面ノ上ノ額ヲ見テ

合掌スル又合掌ナシニ

此堂ニシテト左ノ方ニテ西面ノ上ノ額ヲ見

正ハ同ニト可シテ右ノ廻リニテ柱ノキワニテ西面ノ上ノ額ヲ見テ



シテ極ノ先ニテ兵用 油迄シ在ラズ也  
キズ。ヒカ。ナ。ト。柏子。毒。タ。ニ。入

### 芦刈

シテ麻右ノ後脚ニカス 竹ノ着ル 芦ツ右カツギカ  
ツシ 毒ナシ

モイ本裁 一ノ松ニテ是正向 実ヤ所カラユト  
浦ニト見廻シテ右ウケ 心モスルト是也  
ニ是也ル 難はナルト 芦ツ肩ノシロシ 毒加  
カルヲトシテ極ノ先ニテ用

我々ニ知ラヌト行セリ 柏子ニツフミテ先公右へ  
ノリは柏子ニツシテ柱ノ側ニ貯サカリテ  
カレノリトメ山廻リ 甚々有ヨリトシテ用  
立舞市ノト柏子ニツフニ 角ノ行テ在ヘリ也

柏子ニツフニ 隠レ所ハト正へ也シ左へ廻リシテ丸ノ  
例ニテ少廻リ用 芦刈人ト成花トニツツメ

浦ニカト在ウケ 室中日ツモトニ是公カヤニ  
向ニツツリ ツレナツテト柏子 工ト浦見レハト  
恨シヤト云向ウ掛 懸シケレト用 公掛



草木

詠之し小角丸 月ノ下草ト左ノ廻リニ花ノ

側ニテ 心カト云々 ヒニキ 色シラウロキ 色又キ

遠見ニ花シ 色向テニ花 花ナク事ニカク

草ノ内ニ正 色ト云々 我ニ昔ハト云々

オハ枯草ノ色ナクトモトウク  
花トテ色シト云々 ニヒツ 色ト云々ハト云々

花ハ物ノ名モト云々 中ニカクハカクト云々 テヨトカク

伴舞ハト云々 花トイフト云々 ツカシカ

色ト云々 正ノ内 ヨシアモト 有子ニツ 花ト云々

色ト云々 花ト云々 目ト云々 色ト云々 ハ形ニテモ

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

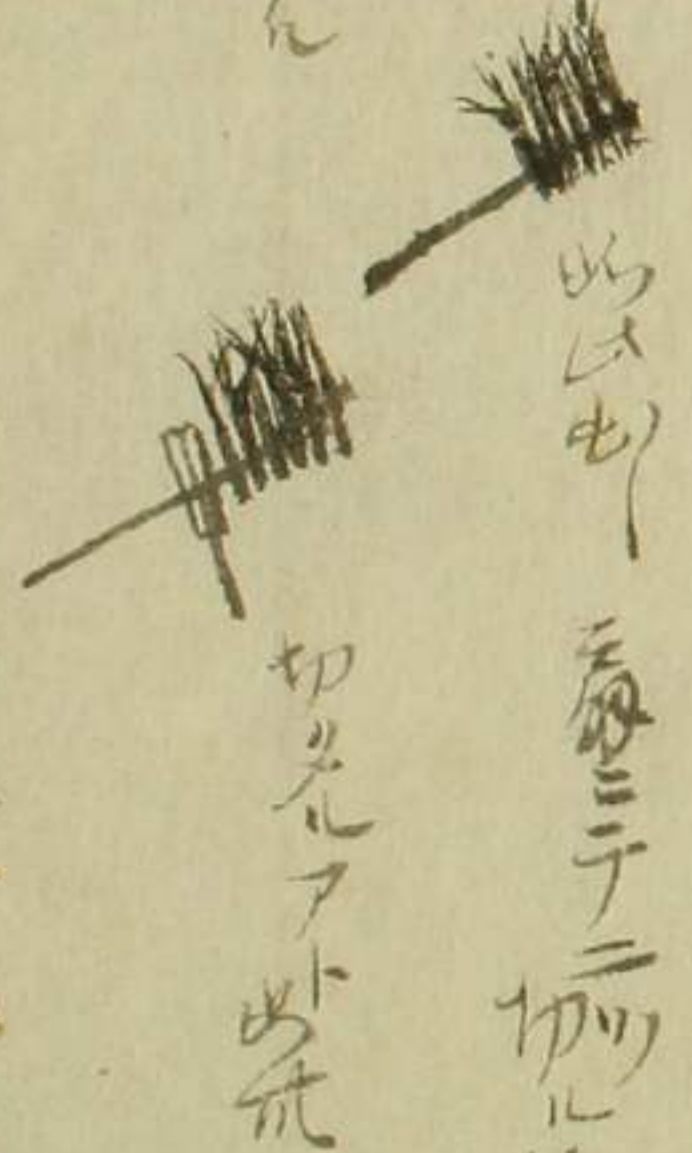
花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々

花ト云々ト云々 花ト云々ト云々



花ト云々ト云々 花ト云々ト云々



尾シニツツヤキク 遠見ハ、後シテ正ニ向  
テテ柱ノ下ニテ、左ノ下ニテ、右ノ下ニテ、 遠見ハ、左ノ下ニテ、右ノ下ニテ、 遠見ハ、左ノ下ニテ、右ノ下ニテ、  
見ル 尾カラハ何トテトヨク、 尾ニ仁徳ナク

内岸ト書テトヨク、 実面自キトヨク、 有龍

カリシ意ソカシトヨク、ワミ向タルキ 見テ柱ノ下ニ

心ヲ角テヤトイ、テ、アノ心ハコト 尾シヨリ勿解

女ハテ同 卷ニシカフト云ヒ、 尾シヨリ勿解

大客ノト角ハ、 内ニ坐テトヨク、大客ノトヨク 尾シヨリ勿解

海ヲ呼ビテ詠カケルトヨク、 古事ヲモ引相ノト

口ノ側ニツク、トヨク、左ノ下ニテ、 尾シヨリ勿解

正面ニツク、公ノ下ニテ、 目ノ前ニトヨク、一ヒキキ

見ハ有柳トシ、公ハスニ正ニ 公、公ハスニ正ニ 公、公ハスニ正ニ

岸ニ向、 面自キトヨク、 人ニ見セヤト右ニ廻リ

シテ柱ノ側ニテ、 難波ワダリノト右ニ大ク見廻シ

テカ、 オモロ舟ト正面ハ、舟ノカモメ 舟ノカモメ、舟ノカモメ

正ニ見ハツク、トヨク、 沖ノカモメ、沖ノカモメ 沖ノカモメ、沖ノカモメ

見廻シ、見廻シ 見廻シ、見廻シ 見廻シ、見廻シ 見廻シ、見廻シ

テハ、テハ テハ、テハ テハ、テハ テハ、テハ テハ、テハ

西ニ見、西ニ見 西ニ見、西ニ見 西ニ見、西ニ見 西ニ見、西ニ見

ナシヤト、ナシヤト ナシヤト、ナシヤト ナシヤト、ナシヤト ナシヤト、ナシヤト

尾遠見ハ、尾遠見ハ 尾遠見ハ、尾遠見ハ 尾遠見ハ、尾遠見ハ











下ツテ廻シテ用 廻ヌト右へ廻リシテ抱え

ヨリ只モテアソヘトツテ角丸ヲカサシ置キ

右左へ廻リシテ抱ノ側ヨリツレヘ向テ係コリ

娘シカリケレト訊クニ申ヘおテトニ辰ヲ寄タシ

口へ向テツラハ舞フスレト訊 今限モトツレ

立舞フ舞ノト左右ノ落ツヌ 逢拜シテ互

左右正ニ立シ 男舞 五段

トメ左右カケ用 吹キ子忘ルト拍子ニツツコ

左右ニテ公認ヘカケ用 是女舞ニカケテ西へ

か 養葉ヲ織ルトノリ込拍子ニツツミテ立ニ

あトリアトヘキリト廻リ 月モ舞リト云雲

シテ用 花モ舞リニテ言リ コマノ住居ノト

角トリ左へ廻リ 夕暮春也ト袖込シリシ有テ

右へ廻リ廻時ツレマテ合シツレノ法ツ廻リテ

橋ヨリノ方角右ツツケテ ミツツヲ舞リニトシテ

柱ノ側へノリ込拍子ニツツニ右ヘトリテ西ノ用

袖込シ右へツツカ 娘シケレト拍子ニ寄タシ

一舟ニノリ込拍子ノ物有時ハ寸シ方ニテ

右へ廻リ立ニシテ左ノ先ニテ向ケ用トメ

是ニ不限ル事ナリ



ワレノ仁取

以テテ公主並ニ地九ニシク 左ノニ向テ  
左ノ海テラシク 先カヨル者ハトテテヨリ  
ハカ脇ニ向テトスル 餘リニ海ニキト右ニテ  
シホリ 彼人ノ行儀ヲトテテ 口ノ内際テ  
蓋ニ履ニテヨリ向テ汎 長テ以トテテ  
シテ前ノ本ニ時ニテツル 今ハ何ヲカワシト  
口ノ 是ハ夏カヤト右ニテシホリサカラシク  
イカ智クトヨリ 今ハ水糸ハトテテテ  
へ行シテ柱ノ先ニテイカニ直人ト汎カヲトス  
カケ合皆シテ向テテ、 二年ノ正ニハト  
常ニ入ニスノ丸ニ行テシテ向シテト一回ニ

下ニ取

切コマノ住辰ノトミ 今春也トトシテワ  
分ノ中ヲ通りテ幕ハ

熊坂

一  
一 海取右持

右行ノ尾ニニ幕上ヨキツリテ呼掛

口ノ内ニハツル者ニハ 吊ヒテ給リ以トテ向

口ノ内ニハツル者ニハ 名ト具名ヤサステトメテ

アトニ見ハ名ト右ノ方 女コナタノ者取コソト



女左ノ方見　ワラフチヲ子ト見　早行ニ

赤ニ公　法男フ松ノ色ヨシ存ト見　難トトノト見

公　此帛ヒト見　清ヨココト見

圃向ハト静ニ見　浮テハイカ有ヘキテ後

ノ先ニテトメ見　ウラハカウ糸フスニト

去時左トリ大少カヨリ正向中へ公テト見

サレト見　此後カト見　例ノ長カヒツ

花ツト石ツ糸借　ナニホウ浅ニキト見

シロウナキト見　ウラカカシト見

去ナカラスト見　西巻ヲ階ハト見　サレハト

正　心ツ脈ト見ト見　サ切ニ見　加柳ノ物

諸リト見　我モト見ト見　才体才トイテウキ見　我モ

オラハト　月見ト見ト見　眠巻ニ入ト見ト見

そ後　何ノ事ナク幕入

出信一返　石裁　長カカウキテ見　一松ニテ長カ

トニキメテ用長カウ軒テ見　又園ノト右ウケ

捲本ノ方ヤト右見廻シテニ見　有明カト見

イウシカニト見ト見　月ハカテ色ト見カ







ラン入。飛鳥ノカケリノキヲ奪キト抄ヲ有

巧哉ハト左リテ西リ 表ニスムト正也

去カテリシテ右リト見廻シ面キ ニテ上直ニテ 具足シ

ウハシ致ヒニケテトツト立テ移カリノ方アリ

無取云爪ト床ルニセリ正也 人ガニテハ

ヨモアラシト拍子 盗ミモ余ノト立 アラシ

ヤウヤリシトテト正也 長カ杖ニツキト

移カリノ方ノ間 長カツキナカラシテ柱ノ側ニ

引ケルカト逆リ面トケテ 無取思フヤリト

正也 面左ノ方ツキツト見カラ拍子有 物ノシ其符者カ切ルトモ

カワ有ラシト拍子フニ有

運ノ極メソト大ウをラ正也 同テ左ニシテヒリカ

キ物ワカニテトセツ拍子 カ也 左リ長カ前ノ

ツキテ極メラキツト見 正也ニセトテトシテ

ノ側ヘクツロキ 長カ投捨ト 正也ニテ長カ持

極ニシテ 移カリノ方ヨモ 投捨 大ウラ度ケテト

脇ノ方ニシテカテ 存ウツ度ケ コノメシロウ

左ノ方ノ行 カシフツリニト右ノ方ノ行

正也 ツ目付テカ 捕ヘニ行テ



左ノヒサキモ板ヘツテ 此ツケ捕ントスルヤ

右ノ方ヘ形ナリテ 前ノめクモツキ右ノヒサキ

ツク カケコフ箱裏ト立テ云々云々ト云

水ノ月ノトトシ見<sup>左ニテトメタルニ</sup> 姿ハ見シタトホノ

前ニテクモトナリノ 此ニ云レシト云ツリテ

あまや 云々云々ト云 見シヨリ云々云テ

カモヨハリヨリ行テト 女右ノ方ヘ 階<sup>但云々ニナリテモ</sup>クナリ

右ノヒアツキテある 坂松カ子ノト面斗ニテ

見付柱ノ方<sup>ハヤキト</sup>シ見 昔ノ海箱ト云等ノ向

テ中<sup>赤ノ世扱メタルト</sup>ヘト 云々云々ト云<sup>ト云</sup> 夕ツケモト<sup>ト云</sup>云

右トリテニ柱ノ方 向 右ヲシケテ 赤板ノト

ニテ柱ノ方<sup>ハヤキト</sup>ハ 柱ニツツフニ 右トリノ向ノ用

右法ニ際シケリト 右ノ面モ 見シニ云

右ノニツメ 際シケリト 右ノ方ニト云

又 赤ノ世扱ケタルト 云々云々ニテ 夕ツケモツケ候ルト  
立テ云々云々ト云 右法ニ際シケル  
著<sup>ハヤキト</sup> 右ノ方ニツツフニ 向テト云 面内  
此ニ云々云々ト云  
右ノ取ニツメ 云々云々



橋本遺

左ニ踏敷 右ニ宿時

唯より方々自テ著上る心ニテ柱ノキヨリ

中ニ於テ正向カツテトメ 是ハト佩

一 旁時 右ニ旁時テシテ改ヨリハ後見也  
之向テリ云

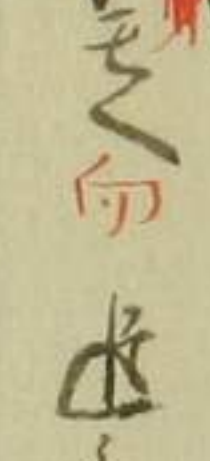
口方ニ素ラマト尊ト 直岸ニ是ニヨケテイカニ

難カ者ト云

テ時立テ云云ニ之カリ有任ノキワニテ

シテ向右ノヨツキルツシテ 内前ニト佩

五條ノ云下トモ一  向 長テト之

云段ノ新ノ事シトトモ一  向 是テオカテト

右ヨリニツメ 目ニモリヘストニツメ 市夏時持

化生ノ者ニトシトモ一 向 是ノ物

アラシト用 実カ持ナルト云ニテヒト切

ニニニ有ニテトモヲオス 口アラハトトトテ

トモ向 イヤ毎度往ノ者ト云

化生ノ者シ平ラケシトトモニツメ



久根ナリト云 雲ノ氣多ク右ウケテ

右ウケ見 凡ス其ニシテ見テテ云

座シト云ハ侍居先ト云テ聞 色シニ

右ホトリ <sup>ツリテ</sup> 抱セリ云云聞テ <sup>早急ニ</sup> <sup>谷ノ</sup> <sup>イ</sup> <sup>大</sup>

トモ

又アヘキ云ノイト 記テシテツ見テ仰

見方ホトニリト云ト云ラツキ礼ラズ

秘多キドクト記 実多持ナ者分ト

云ラツキ礼ラズ 久根ナリト云 亦也

座右トリテ 落見ル一付左トリテ云向

右利ノ以ク下ニ云 シテノ以ヨリ大シ



